

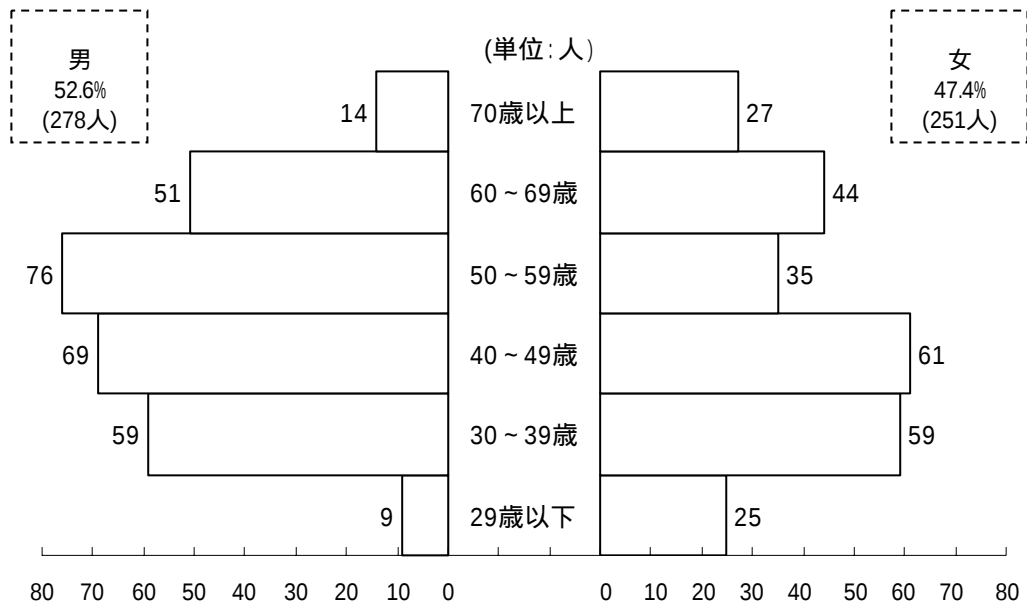
第4章 精神障害者の状況

1 基本的属性

(1) 性・年齢階級

回答者を性別にみると「男性」52.6%（278人）、「女性」47.4%（251人）である。年齢階級は男性40代、50代、女性は30代、40代が比較的多い。（図 -1-1）

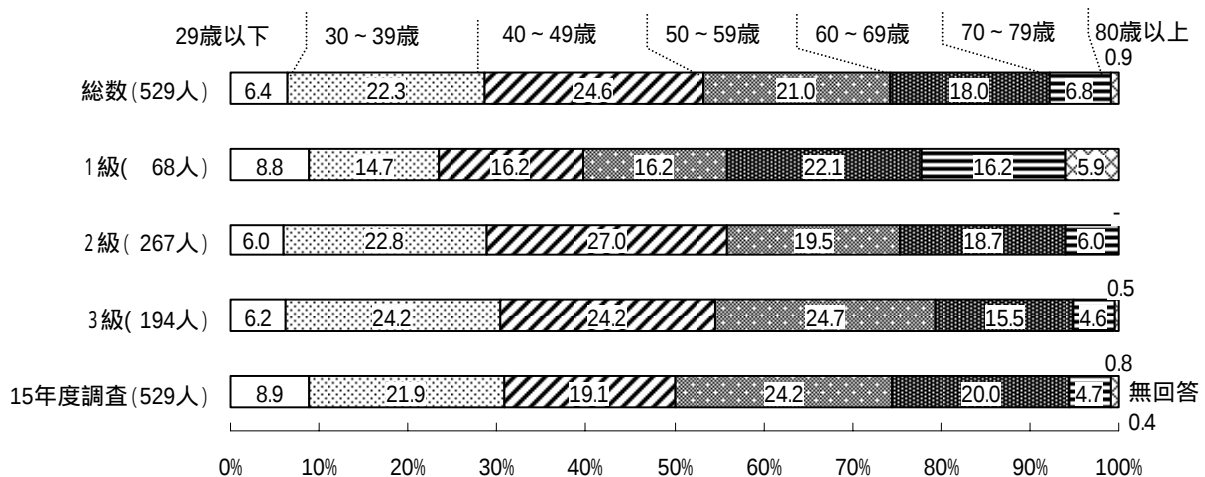
図 -1-1 性・年齢階級



(2) 年齢階級 - 精神障害者保健福祉手帳の等級別

年齢階級を精神障害者保健福祉手帳の等級別にみると、2級及び3級では49歳以下の割合が5割を超えている。（図 -1-2）

図 -1-2 年齢階級 - 精神障害者保健福祉手帳の等級別



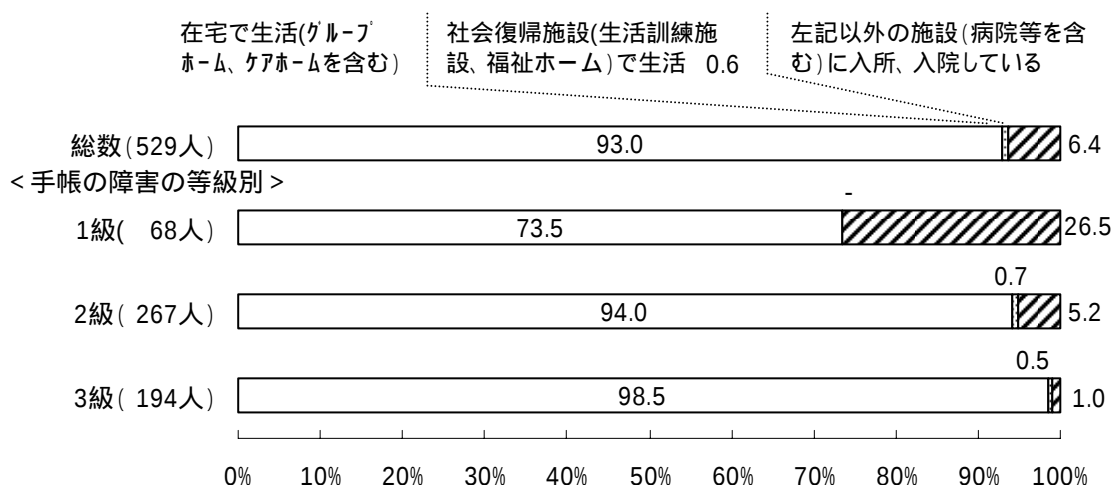
(3) 現在の生活の場 - 障害の等級別

「在宅で生活（グループホーム、ケアホームを含む）」している人は93.0%

現在の生活の場については、「在宅で生活（グループホーム、ケアホームを含む）」の割合が93.0%、「施設（病院等を含む）」に入所、入院している」が6.4%となっている。手帳の障害の等級別にみると、1級では「施設（病院等を含む）」に入所、入院している」割合が26.5%と高くなっている。（図 -1-3）

問 現在の生活の場はどこですか。

図 -1-3 現在の生活の場 - 障害の等級別



(4) 住居の種類

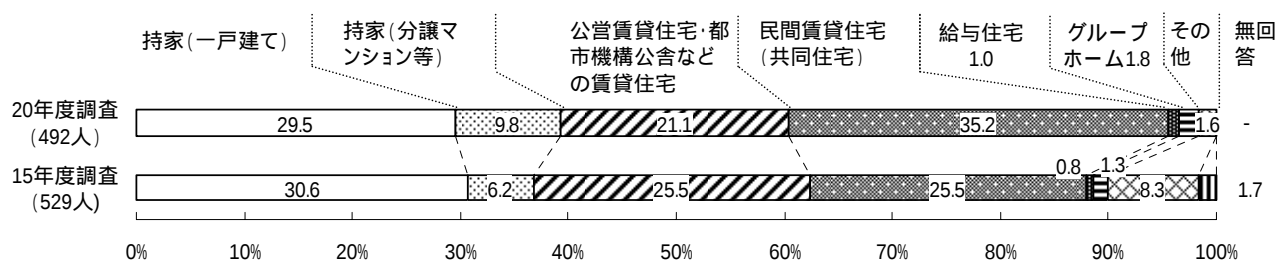
在宅で生活している人 492 人が対象

住居の種類は民間賃貸住宅（共同住宅）の割合が最も高く 35.2%

在宅で生活をしている人（492人）の住居の種類は、「持家（一戸建て）」29.5%、「持家（分譲マンション等）」9.8%で、持家の割合が39.2%と約4割、「民間賃貸住宅（共同住宅）」の割合は35.2%となっている。（図 -1-4）

問 あなたのお住まいの種類は次のどれですか。

図 -1-4 住居の種類



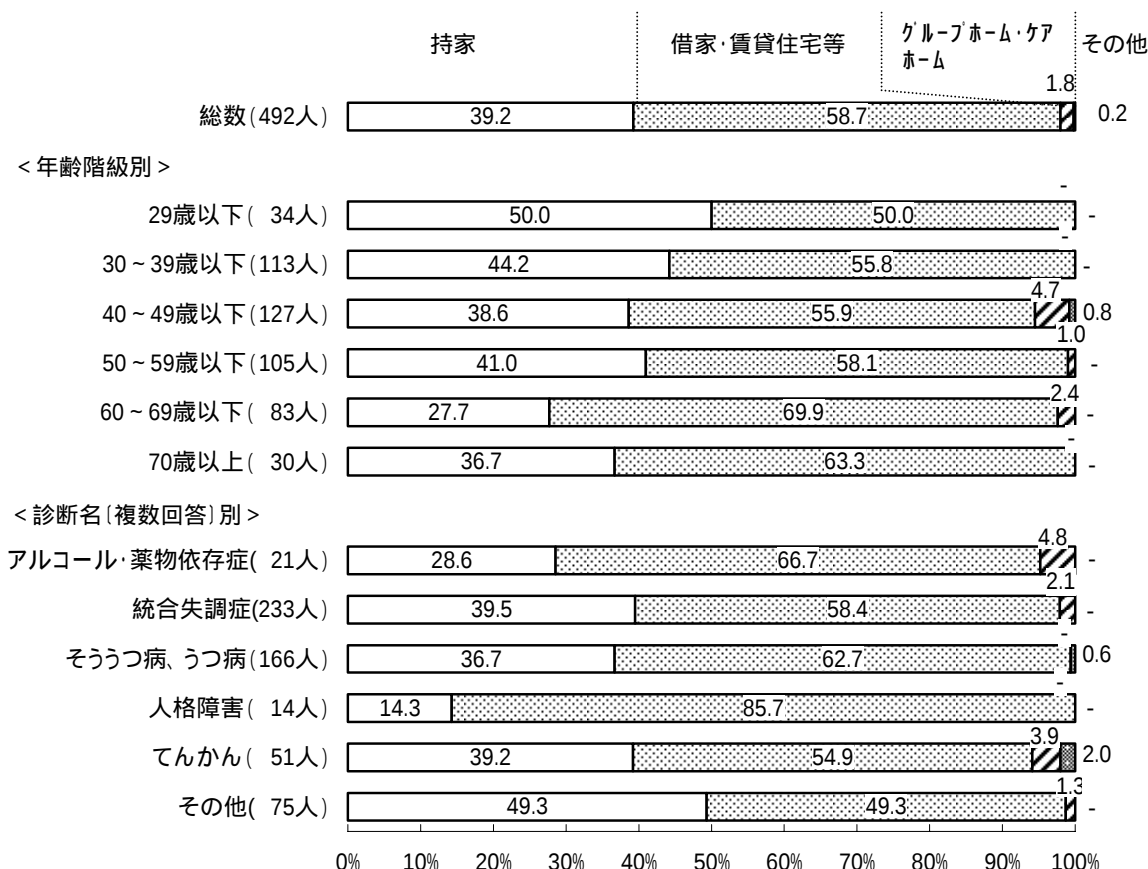
(注)住居の種類については、所有、賃貸の名義が障害者本人と限定していない。そのため、家族等の名義になっている場合も含まれており、調査結果と所有者、賃貸の名義人とは必ずしも一致しない。

(5) 住居の種類 - 年齢階級、診断名〔複数回答〕別

在宅で生活している人 492 人が対象

住居の種類を年齢階級別にみると 40 代では、「グループホーム・ケアホーム」の割合が 4.7% と総数 (1.8%) よりも高くなっている。(図 -1-5)

図 -1-5 住居の種類 - 年齢階級、診断名〔複数回答〕別



(注) 「第 4 章 精神障害者の状況」の精神障害の診断名は「ICD-10 (国際疾病分類)」() で主だったものを表記している。「その他」の内訳としては神経症やアルツハイマー病などが含まれる。

ICD10 (国際疾病分類) とは、世界保健機構 (WHO) が作成した疾病及び関連保健問題の国際統計分類のことである。

(6) 一緒に生活している人〔複数回答〕

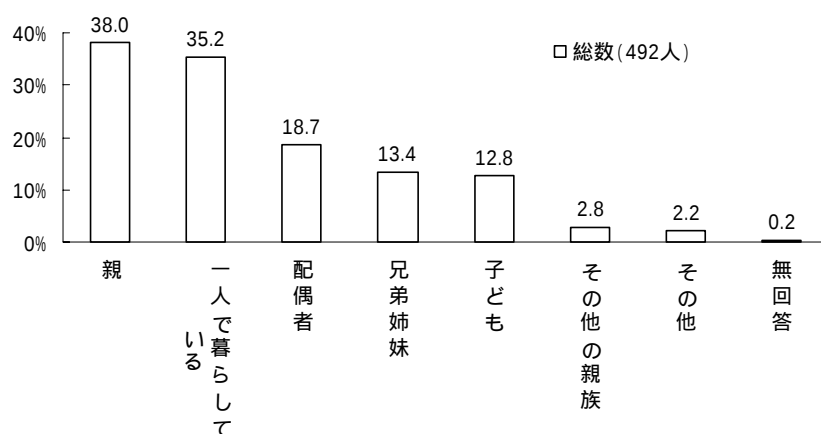
在宅で生活している人 492 人が対象

「ひとりで暮らしている」人は 35.2%

調査基準日現在、だれと生活しているかをみると「親」38.0%、「一人で暮らしている」35.2%の割合が高い。(図 -1-6)

問 あなたは現在、だれと一緒に生活していますか。

図 -1-6 一緒に生活している人〔複数回答〕



(7) 一緒に生活している人〔複数回答〕 - 年齢階級別

在宅で生活している人 492 人が対象

一緒に生活している人を年齢階級別にみると、29 歳以下では「親」の割合が 82.4%と他の年代と比べて高く、60 歳以上では「一人で暮らしている」が 57.5%と高い。(表 -1-1)

表 -1-1 一緒に生活している人〔複数回答〕 - 年齢階級別

	総 数	親	配 偶 者	子 ど も	兄 弟 姉 妹	そ の 他 の 親 族	て 一 人 で 暮 ら し	そ の 他	無 回 答
総数	100.0 (492)	38.0	18.7	12.8	13.4	2.8	35.2	2.2	0.2
29歳以下	100.0 (34)	82.4	2.9	8.8	35.3	2.9	5.9	2.9	-
30～39歳	100.0 (113)	61.1	14.2	9.7	19.5	5.3	23.9	-	-
40～49歳	100.0 (127)	42.5	13.4	12.6	12.6	0.8	30.7	5.5	-
50～59歳	100.0 (105)	30.5	18.1	10.5	8.6	1.9	47.6	1.0	1.0
60歳以上	100.0 (113)	3.5	34.5	19.5	6.2	3.5	57.5	1.8	-
(再掲) 総数 65歳以上	100.0 (69)	1.4	42.0	23.2	2.9	5.8	44.9	1.4	-

(8) 配偶者の手帳所持の有無と手帳の種類〔複数回答〕

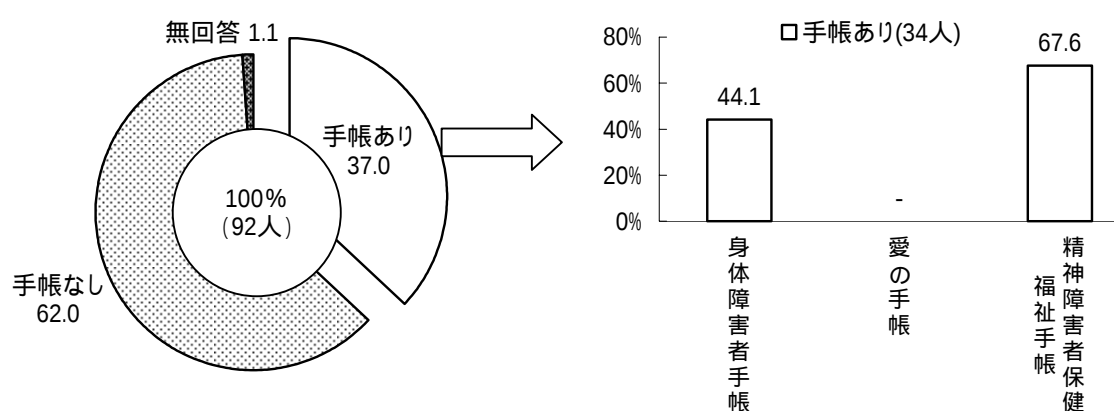
配偶者と生活している 92 人が対象

はいぐうしゃ てちょうしよじしゃ わりあい
配偶者が手帳所持者である割合は 37.0%

配偶者について手帳所持者かどうか尋ねたところ、「手帳あり」と回答した割合は 37.0% (34 人) であった。また、「手帳あり」と回答した人の手帳の種類の割合は「精神障害者保健福祉手帳」67.6% 「身体障害者手帳」44.1% であった。(図 -1-7)

とい はいぐうしゃ てちょうしよじしゃ
問 配偶者は、手帳所持者ですか。

図 -1-7 配偶者の手帳所持の有無と手帳の種類〔複数回答〕



2 障害の状況

(1) 精神障害者保健福祉手帳の障害の等級 - 年齢階級、診断名〔複数回答〕別

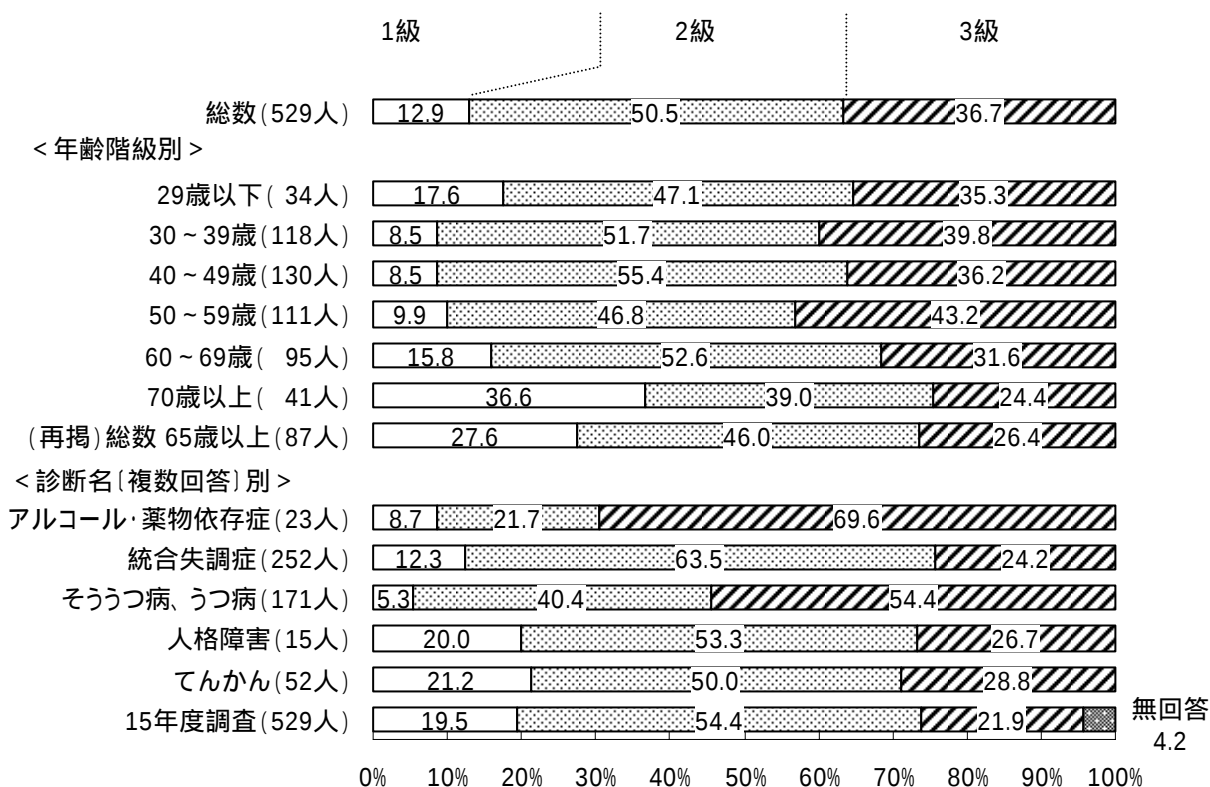
せいしんしょうがいしゃほけんふくしてちょう きゅう
精神障害者保健福祉手帳の等級は「2級」が50.5%

精神障害者保健福祉手帳の等級をみると、「2級」の割合が最も高く50.5%、次いで「3級」36.7%、「1級」12.9%となっている。(図 -2-1)

と
問 あなたの精神障害者保健福祉手帳に記載された障害の程度は何級ですか。
せいしんしょうがいしゃほけんふくしてちょう きさい しょうがい ていど なんきゅう

図 -2-1 精神障害者保健福祉手帳の障害の等級

- 年齢階級、診断名〔複数回答〕別



(2) 初診時の年齢（精神疾患にかかわる病気） - 年齢階級、診断名〔複数回答〕別

精神疾患にかかわる病気（てんかんを含む）の初診時の年齢は「20～29歳」が33.1%

初診時の年齢は、「20～29歳」の割合が33.1%と最も高く、次いで「10～19歳」が20.2%となっている。

年齢階級別でみると30代～50代では、初診時の年齢が「20～29歳」と回答した割合が最も高い。

診断名別にみると統合失調症の人では、初診時の年齢が「20～29歳」と回答した割合が総数（33.1%）よりも高く43.3%となっている。（表 -2-1）

問 あなたが病院、診療所等の医療機関で、精神疾患にかかわる病気（てんかんを含む）の診断を受けたときの初診時の年齢はいくつですか。

表 -2-1 初診時の年齢（精神疾患にかかわる病気） - 年齢階級、診断名〔複数回答〕別

	総 数	0 ～ 9 歳	1 0 ～ 1 9 歳	2 0 ～ 2 9 歳	3 0 ～ 3 9 歳	4 0 ～ 4 9 歳	5 0 ～ 5 9 歳	6 0 歳 以上	覚 わ か て ら い な い ・	無 回 答
総数	100.0 (529)	2.6	20.2	33.1	17.6	12.3	6.4	5.1	2.5	0.2
年 齢 階 級 別	29歳以下	100.0 (34)	11.8	47.1	38.2	-	-	-	-	2.9
	30～39歳	100.0 (118)	2.5	28.8	51.7	16.9	-	-	-	-
	40～49歳	100.0 (130)	3.8	20.0	32.3	28.5	13.1	-	2.3	-
	50～59歳	100.0 (111)	0.9	11.7	31.5	18.0	25.2	9.0	3.6	-
	60～69歳	100.0 (95)	1.1	16.8	20.0	14.7	14.7	22.1	7.4	3.2
	70歳以上	100.0 (41)	-	4.9	12.2	4.9	14.6	7.3	48.8	7.3
	(再掲)総数 65歳以上	100.0 (87)	-	8.0	17.2	5.7	14.9	17.2	31.0	5.7
診 断 名 〔 複 数 回 答 〕 別	アルコール・薬物依存症	100.0 (23)	-	4.3	26.1	13.0	43.5	8.7	-	4.3
	統合失調症	100.0 (252)	-	29.8	43.3	15.5	5.6	3.2	1.6	1.2
	そううつ病、うつ病	100.0 (171)	1.8	11.7	28.1	22.2	17.5	9.4	5.8	3.5
	人格障害	100.0 (15)	-	20.0	26.7	26.7	6.7	13.3	6.7	-
	てんかん	100.0 (52)	23.1	30.8	23.1	13.5	1.9	5.8	-	1.9
	その他	100.0 (85)	2.4	10.6	17.6	23.5	17.6	9.4	14.1	3.5
15年度調査		100.0 (529)	3.0	21.9	36.3	15.9	10.0	6.8	4.0	1.5

(3) 精神障害の診断名〔複数回答〕 - 年齢階級、精神障害者保健福祉手帳の障害の等級別

前回調査よりも「統合失調症」の割合は 1.7 ポイント減少、「そううつ病、うつ病」は 3.9 ポイント増加

精神障害の診断名についてみると、「統合失調症」の割合が最も高く 47.6%、次いで「そううつ病、うつ病」が 32.3%となっている。

年齢階級別にみると、「統合失調症」の割合は 30～39 歳が 57.6%と最も高く、「そううつ病、うつ病」の割合は 50～59 歳が 39.6%と最も高い。

障害の等級別にみると「統合失調症」の割合は、2 級が 59.9%と高くなっている。

前回調査（15 年度調査）と比べると、「統合失調症」の割合は 1.7 ポイント減少、「そううつ病、うつ病」は 3.9 ポイント増加した。（表 -2-2）

問 もし、よろしければあなたの診断名についてお答えください。

表 -2-2 精神障害の診断名〔複数回答〕

- 年齢階級、精神障害者保健福祉手帳の障害の等級別

		総 数	依ルア 存・ル 症薬コ ー 物	症統 合失 調	病病そ 、う うつ	人 格 障 害	て ん か ん	そ の 他	無 回 答
総数		100.0 (529)	4.3	47.6	32.3	2.8	9.8	16.1	4.0
年 齢 階 級 別	29歳以下	100.0 (34)	-	50.0	29.4	-	14.7	20.6	5.9
	30～39歳	100.0 (118)	2.5	57.6	30.5	4.2	7.6	10.2	3.4
	40～49歳	100.0 (130)	3.1	47.7	34.6	4.6	14.6	18.5	2.3
	50～59歳	100.0 (111)	8.1	45.0	39.6	0.9	7.2	9.0	4.5
	60～69歳	100.0 (95)	7.4	46.3	27.4	2.1	10.5	16.8	3.2
	70歳以上	100.0 (41)	-	26.8	24.4	2.4	2.4	39.0	9.8
	(再掲)総数 65歳以上	100.0 (87)	3.4	37.9	25.3	3.4	1.1	33.3	4.6
障 害 別 の 等 級	1級	100.0 (68)	2.9	45.6	13.2	4.4	16.2	32.4	2.9
	2級	100.0 (267)	1.9	59.9	25.8	3.0	9.7	9.7	4.1
	3級	100.0 (194)	8.2	31.4	47.9	2.1	7.7	19.1	4.1
15年度調査		100.0 (529)	3.0	49.3	28.4	3.0	7.4	15.3	5.9

(4) 精神障害者保健福祉手帳以外の手帳所持の有無〔複数回答〕

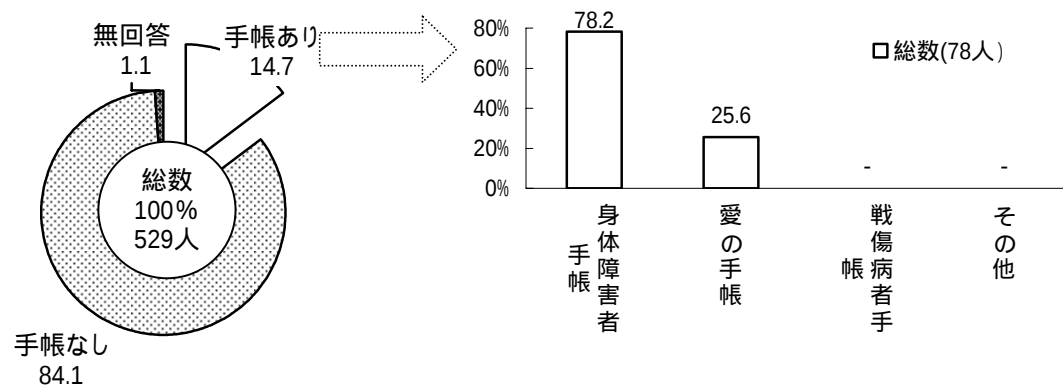
せいしんしょうがいしゃほけんふくしてちょういがい てちょう も わりあい
精神障害者保健福祉手帳以外の手帳を持っている割合は 14.7%

精神障害者保健福祉手帳以外の手帳を持っている割合は 14.7% (78 人) である。

その 78 人の内、約 8 割 (78.2%) が「身体障害者手帳」所持者となっている。(図 -2-2)

とい 問 あなたは精神障害者保健福祉手帳以外の手帳をお持ちですか。

図 -2-2 精神障害者保健福祉手帳以外の手帳所持の有無〔複数回答〕



3 健康・医療

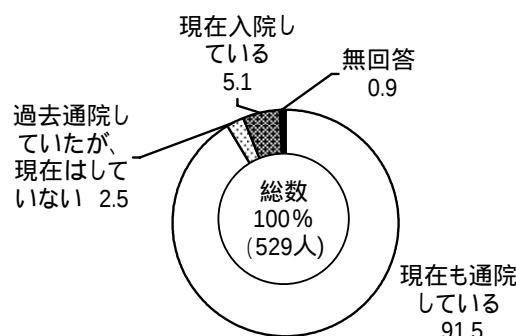
(1) 通院の有無（精神疾患にかかわる病気）

精神疾患にかかわる病気（てんかんを含む）で「現在も通院している」割合は91.5%

精神疾患にかかわる病気（てんかんを含む）の通院状況は「現在も通院している」割合が91.5%と、調査基準日現在で9割以上の方が通院していると回答した。（図 -3-1）

問 あなたは、平成20年10月15日（調査基準日）現在、精神疾患にかかわる病気（てんかんを含む）で通院していますか。

図 -3-1 通院の有無（精神疾患にかかわる病気）



(2) 通院に要する時間 - 年齢階級別

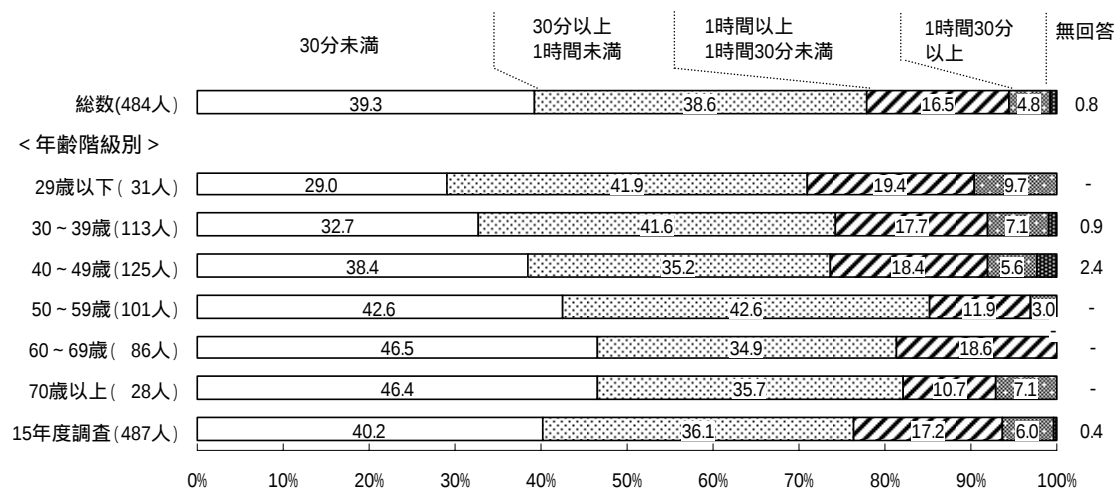
現在も通院している484人の状況

通院に要する片道の時間は1時間未満が8割弱

精神疾患にかかわる病気（てんかんを含む）で通院している人の通院に要する片道の時間は「30分未満」の割合（39.3%）と、「30分以上1時間未満」の割合（38.6%）が高くなっており、これらを合わせた「1時間未満」の割合は77.9%となっている。年齢階級別にみると「30分未満」の割合は、年齢が上がるにつれて概ね高くなっている（図 -3-2）

問 あなたが通院に要する片道の時間はどれくらいですか。

図 -3-2 通院に要する時間 - 年齢階級別



(3) 通院の際に利用する交通手段

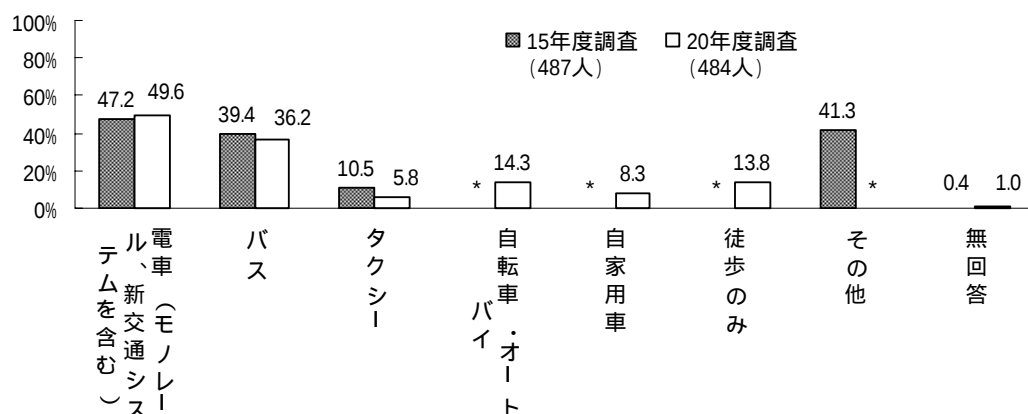
現在も通院している 484 人の状況

通院の際に利用する交通手段は「電車（モノレール、新交通システムを含む）」が 49.6%

通院の際に利用する交通手段は「電車（モノレール、新交通システムを含む）」の割合が、49.6%とほぼ半数であった。（図 -3-3）

問 あなたが通院の際に利用する交通手段は何ですか。

図 -3-3 通院の際に利用する交通手段



（注）*は前回調査（15年度調査）時、選択肢がなかったもの、又は今回調査で選択肢を設けなかったものである。

(4) 通院の際に要する交通費

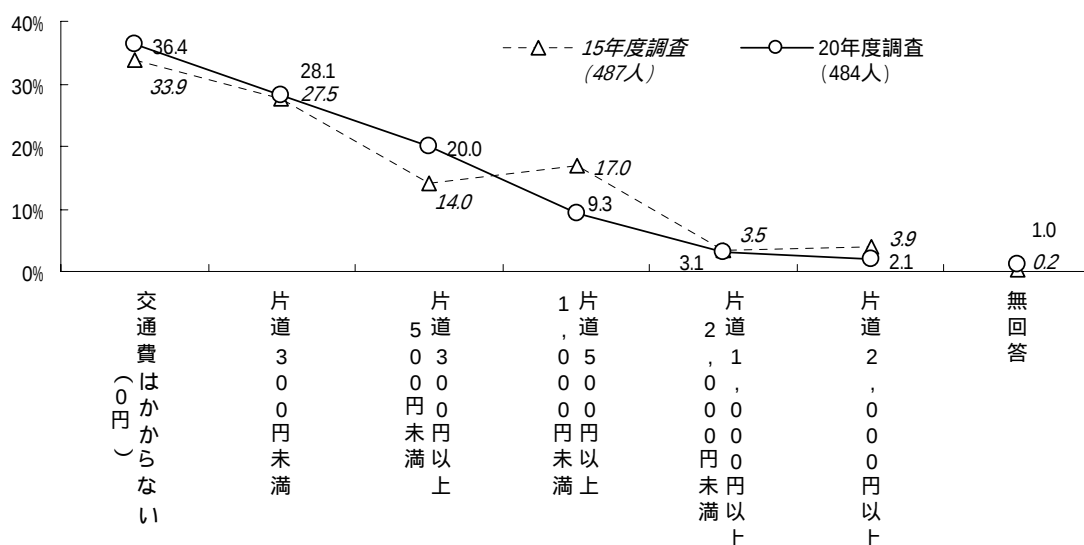
現在も通院している 484 人の状況

通院の際に要する交通費は「0円」の割合が最も高い

通院の際に要する交通費は「交通費はかからない」の割合が最も高く 36.4%で、交通費が高くなるにつれて、その割合は下がっている。（図 -3-4）

問 あなたが通院の際に要する交通費はどれくらいですか。

図 -3-4 通院の際に要する交通費



(5) 入院経験の有無（精神疾患にかかわる病気）

- 年齢階級、障害の等級、診断名〔複数回答〕別

精神疾患にかかわる病気（てんかんを含む）で「現在入院していないが、過去に入院したことがある」割合は 68.2%

入院経験の有無（精神疾患にかかわる病気）の割合は、「現在入院している」が 5.1%、「現在入院していないが、過去に入院したことがある」が 68.2%、「入院したことはない」が 26.5% となっている。

障害の等級別にみると「現在入院している」割合は、1 級が 22.1%と総数の割合（5.1%）よりも高くなっている。（表 -3-1）

問 あなたは、精神疾患にかかわる病気（てんかんを含む）で、病院、診療所等の医療機関への入院経験がありますか。

表 -3-1 入院経験の有無（精神疾患にかかわる病気）

- 年齢階級、障害の等級、診断名〔複数回答〕別

		総 数	現 在 入 院 し て い る	現 在 入 院 し て い な い が 、 過 去 に 入 院 し た こ と が あ る	現 在 入 院 し て い な い こ と は な い	入 院 し た こ と は な い	無 回 答
総数		100.0 (529)	5.1	68.2	26.5		0.2
年 齢 階 級 別	29歳以下	100.0 (34)	-	61.8	38.2		-
	30～39歳	100.0 (118)	3.4	61.9	34.7		-
	40～49歳	100.0 (130)	1.5	73.1	25.4		-
	50～59歳	100.0 (111)	5.4	73.9	20.7		-
	60～69歳	100.0 (95)	8.4	69.5	22.1		-
	70歳以上	100.0 (41)	17.1	58.5	22.0	2.4	
	(再掲)総数 65歳以上	100.0 (87)	14.9	63.2	20.7	1.1	
障 害 の 等 級 別	1級	100.0 (68)	22.1	58.8	17.6	1.5	
	2級	100.0 (267)	3.7	78.3	18.0		-
	3級	100.0 (194)	1.0	57.7	41.2		-
診 断 名 (複 数 回 答) 別	アルコール・薬物依存症	100.0 (23)	13.0	65.2	21.7		-
	統合失調症	100.0 (252)	4.4	75.0	20.6		-
	そううつ病、うつ病	100.0 (171)	2.9	59.6	37.4		-
	人格障害	100.0 (15)	6.7	73.3	20.0		-
	てんかん	100.0 (52)	-	80.8	19.2		-
	その他	100.0 (85)	10.6	48.2	40.0	1.2	

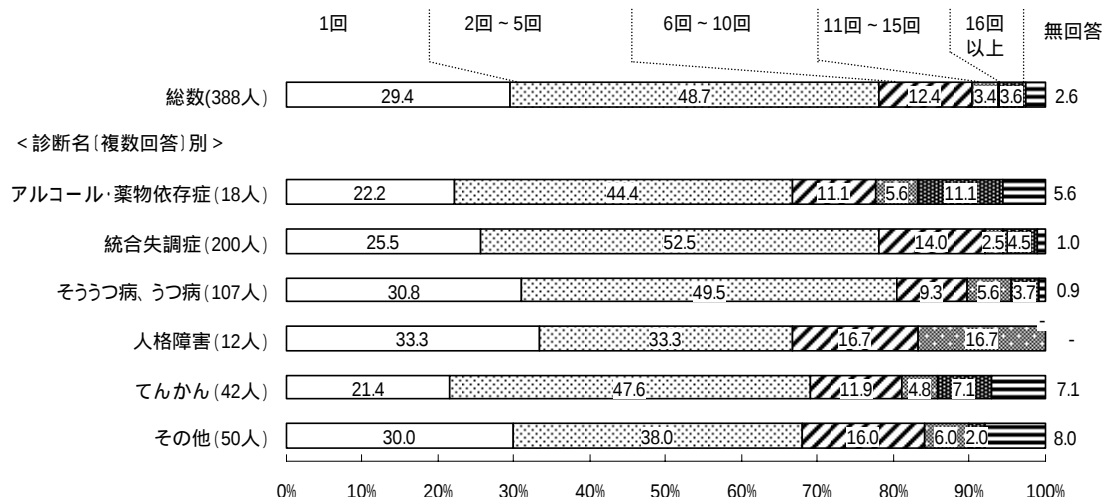
(6) 入院回数 - 診断名〔複数回答〕別

精神疾患にかかわる病気(てんかんを含む)での入院回数は、「2～5回」の割合が48.7%

精神疾患にかかわる病気(てんかんを含む)での入院回数は、「2～5回」の割合が48.7%と最も高く、次いで「1回」が29.4%となっている。(図 -3-5)

問 これまで、精神疾患にかかわる病気(てんかんを含む)で何回入院したことがありますか。

図 -3-5 入院回数 - 診断名〔複数回答〕別



(7) 入院期間

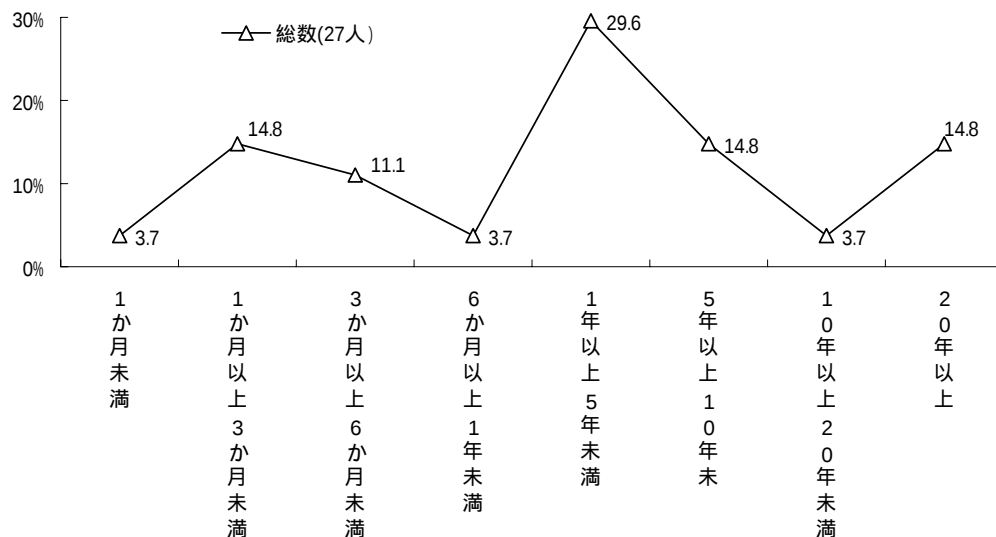
現在入院をしている27人が対象

入院期間は「1年以上5年未満」の割合が最も高い

入院期間は「1年以上5年未満」の割合は29.6%と最も高くなっている。(図 -3-6)

問 平成20年10月15日(調査基準日)現在、入院期間はどれくらいですか。

図 -3-6 入院期間



(8) 受診の有無 (精神疾患以外の病気、ケガ等)

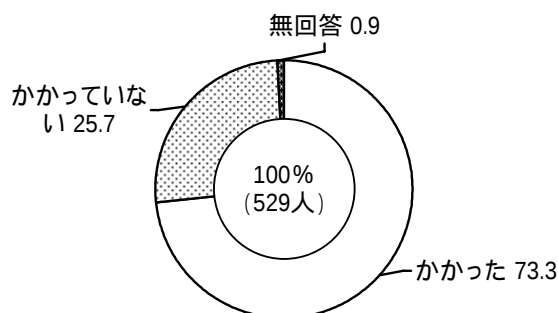
過去1年間に精神疾患以外の病気やケガなどで医者にかかったことがある割合は 73.3%

過去 1 年間に精神疾患 (てんかんを含む) 以外の病気やケガなどで医者にかかったことがあるか聞いたところ「かかった」と答えた割合は 73.3%、「かかっていない」は 25.7%であった。

(図 -3-7)

問 あなたは過去1年間に精神疾患 (てんかんを含む) 以外の病気やケガなどで医者にかかったことはありますか。

図 -3-7 受診の有無 (精神疾患以外の病気、ケガ等)



(9) 医療費助成の利用の有無〔複数回答〕 - 年齢階級別

利用した医療費助成は「自立支援医療 (精神通院医療)」の割合が 72.2%

医療費助成の利用の有無の割合は、「利用した」が 76.0%、「利用しなかった」が 21.4%で、利用した医療費助成は「自立支援医療 (精神通院医療)」の割合が 72.2%と最も高く、30 代 (80.5%)、40 代 (82.3%) で 8 割を超えている。(表 -3-2)

問 あなたは過去1年間に医療費助成等を利用しましたか。

表 -3-2 医療費助成の利用の有無〔複数回答〕 - 年齢階級別

	総数	利用した	療心費身助障成害者医	(更立生支援医療)	療(自立支援医療)	助難成病等医療費	その他	た利用しなかつ	無回答
総数	100.0 (529)	76.0	1.3	0.8	72.2	0.6	1.5	21.4	2.6
29歳以下	100.0 (34)	76.5	2.9	-	70.6	-	2.9	20.6	2.9
30～39歳	100.0 (118)	83.1	1.7	0.8	80.5	-	-	15.3	1.7
40～49歳	100.0 (130)	84.6	-	0.8	82.3	-	2.3	14.6	0.8
50～59歳	100.0 (111)	73.0	2.7	-	68.5	1.8	0.9	22.5	4.5
60～69歳	100.0 (95)	71.6	1.1	1.1	66.3	-	3.2	25.3	3.2
70歳以上	100.0 (41)	46.3	-	2.4	41.5	2.4	-	48.7	4.9
(再掲)総数 65歳以上	100.0 (87)	59.8	1.1	2.3	52.9	1.1	2.3	36.8	3.4
15年度調査	100.0 (529)	76.7	4.7	0.4	72.4	0.8	1.5	20.6	2.6

(10) 自立支援医療（精神通院医療）の自己負担額 -

年齢階級、現在一緒に生活している人〔複数回答〕別

自立支援医療（精神通院医療）の自己負担額は、「0円」の割合が46.3%

1か月の自立支援医療(精神通院医療)の自己負担額は、「0円」の割合が46.3%と最も高い。年齢階級別にみると「0円」の割合は60歳以上(58.8%)、現在一緒に生活している人別にみると、一人で暮らしている(67.2%)人で高くなっている。また、「10,001円以上」の割合は29歳以下で8.3%となっており、総数(2.1%)よりも高いのが目立つ。(表 -3-3)

問 1 か月の自立支援医療（精神通院医療）の自己負担額は、平均でどれくらいですか。

表 -3-3 自立支援医療（精神通院医療）の自己負担額

- 年齢階級、現在一緒に生活している人〔複数回答〕別

		総 数	0 円	1 円 ～ 2 円 5 0 0 円	2 5 0 0 1 円 ～ 5 0 0 円	5 0 0 1 円 ～ 1 0 0 1 円 以上	1 0 0 0 1 円 以上	わ か ら な い	無 回 答
総数		100.0 (382)	<u>46.3</u>	16.2	15.2	6.8	<u>2.1</u>	7.6	5.8
年 齢 階 級 別	29歳以下	100.0 (24)	33.3	8.3	20.8	12.5	<u>8.3</u>	8.3	8.3
	30～39歳	100.0 (95)	41.1	12.6	26.3	7.4	2.1	4.2	6.3
	40～49歳	100.0 (107)	47.7	16.8	16.8	8.4	1.9	6.5	1.9
	50～59歳	100.0 (76)	42.1	23.7	7.9	6.6	1.3	9.2	9.2
	60歳以上	100.0 (80)	<u>58.8</u>	15.0	5.0	2.5	1.3	11.3	6.3
	(再掲)総数 65歳以上	100.0 (46)	58.7	15.2	2.2	2.2	2.2	13.0	6.5
現 在 一 緒 に 生 活 し て い る 人 (複 数 回 答) 別	親	100.0 (150)	32.0	19.3	24.0	8.0	4.7	6.7	5.3
	配偶者	100.0 (66)	30.3	24.2	19.7	9.1	3.0	6.1	7.6
	子ども	100.0 (41)	41.5	34.1	14.6	2.4	-	4.9	2.4
	兄弟姉妹	100.0 (51)	25.5	21.6	23.5	15.7	3.9	3.9	5.9
	その他の親族	100.0 (12)	25.0	25.0	41.7	-	8.3	-	-
	一人で暮らしている	100.0 (125)	<u>67.2</u>	8.0	3.2	4.8	-	12.0	4.8
	その他	100.0 (10)	60.0	20.0	10.0	-	-	-	10.0

4 日常生活の状況

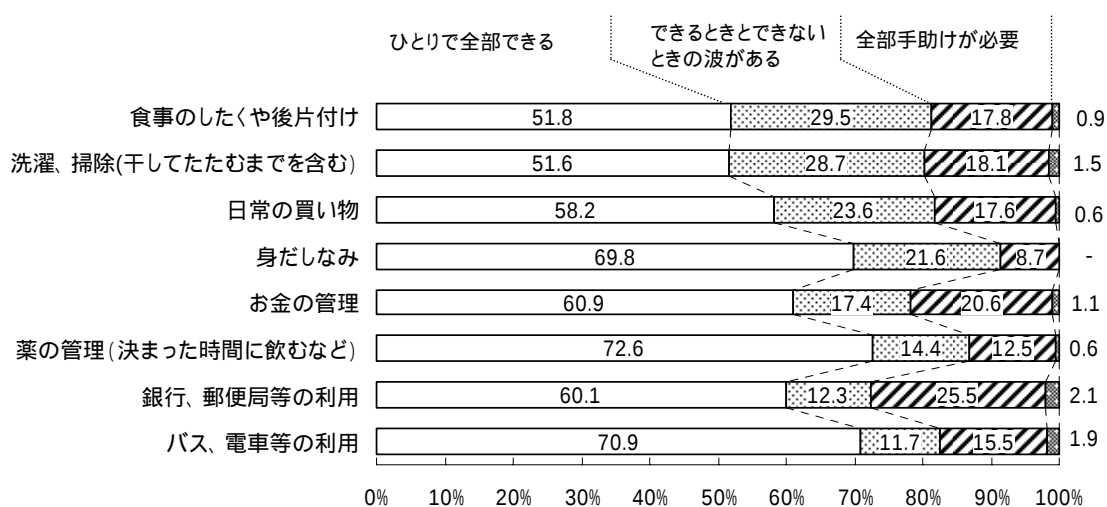
(1) 日常生活動作能力

「できるときとできないときの波がある」と答えた割合が高いのは、食事のしたくや後片付け・洗濯、掃除で3割弱

8項目の日常生活動作能力のうち、「ひとりで全部できる」と答えた割合が最も高いのは、薬の管理（決まった時間に飲むなど）で72.6%である。一方、「全部手助けが必要」と答えた割合が最も高いのは、銀行、郵便局等の利用で25.5%となっている。（図 -4-1）

問 あなたは次の動作について、自分一人ですべてできますか。

図 -4-1 日常生活動作能力



(注)総数は8項目とも529人である。

(2) 日常生活動作能力 (a 食事のしたくや後片付け b 掃除、洗濯 (干してたたむまでを含む) c 日常の買い物) - 年齢階級、障害の等級、診断名〔複数回答〕別

日常生活動作能力 (a 食事のしたくや後片付け b 掃除、洗濯 (干してたたむまでを含む) c 日常の買い物) について年齢階級別にみると、「できるときとできないときの波がある」の割合は、49 歳以下の年齢階級で他の年代よりも高くなっている。障害の等級別にみると、1 級では「全部手助けが必要」の割合が「a 食事のしたくや後片付け」「b 掃除、洗濯 (干してたたむまでを含む)」「c 日常の買い物」全ての動作で 4 割以上となっている。(表 -4-1)

表 -4-1 日常生活動作能力 (a 食事のしたくや後片付け b 掃除、洗濯 (干してたたむまでを含む) c 日常の買い物) - 年齢階級、障害の等級、診断名〔複数回答〕別

		a 食事のしたくや後片付け					b 掃除、洗濯(干してたたむまでを含む)					c 日常の買い物											
		総 数	で き る	ひ と り で 全 部	の 波 が あ い と き と	で き る と き と	必 要 全 部 手 助 け が	無 回 答	総 数	で き る	ひ と り で 全 部	の 波 が あ い と き と	で き る と き と	必 要 全 部 手 助 け が	無 回 答	総 数	で き る	ひ と り で 全 部	の 波 が あ い と き と	で き る と き と	必 要 全 部 手 助 け が	無 回 答	
総数		100.0 (529)	51.8		29.5	17.8	0.9	100.0 (529)	51.6		28.7	18.1	1.5	100.0 (529)	58.2		23.6	17.6	0.6				
年 齢 階 級 別	29歳以下	100.0 (34)	52.9		35.3	8.8	2.9	100.0 (34)	50.0		35.3	14.7	-	100.0 (34)	58.8		29.4	11.8	-				
	30～39歳	100.0 (118)	46.6		34.7	17.8	0.8	100.0 (118)	46.6		33.9	16.9	2.5	100.0 (118)	61.0		25.4	13.6	-				
	40～49歳	100.0 (130)	47.7		35.4	15.4	1.5	100.0 (130)	51.5		35.4	10.8	2.3	100.0 (130)	56.2		30.0	13.1	0.8				
	50～59歳	100.0 (111)	61.3		28.8	9.9	-	100.0 (111)	64.0		24.3	11.7	-	100.0 (111)	67.6		18.0	13.5	0.9				
	60～69歳	100.0 (95)	56.8		20.0	23.2	-	100.0 (95)	51.6		22.1	25.3	1.1	100.0 (95)	56.8		22.1	21.1	-				
	70歳以上	100.0 (41)	41.5		14.6	41.5	2.4	100.0 (41)	34.1		14.6	47.8	2.4	100.0 (41)	34.1		12.2	51.2	2.4				
	(再掲)総数 65歳以上	100.0 (87)	49.4		16.1	33.3	1.1	100.0 (87)	40.2		17.2	40.2	2.3	100.0 (87)	42.5		19.5	36.8	1.1				
障 害 の 等 級 別	1級	100.0 (68)	29.4		26.5	42.6	1.5	100.0 (68)	27.9		29.4	41.2	1.5	100.0 (68)	35.3		13.2	50.0	1.5				
	2級	100.0 (267)	51.7		28.8	18.7	0.7	100.0 (267)	52.4		27.3	18.4	1.9	100.0 (267)	58.8		25.1	15.4	0.7				
	3級	100.0 (194)	59.8		31.4	7.7	1.0	100.0 (194)	58.8		30.4	9.8	1.0	100.0 (194)	65.5		25.3	9.3	-				
診 断 名 (複 数 回 答) 別	アルコール・ 薬物依存症	100.0 (23)	78.3		13.0	8.7	-	100.0 (23)	82.6		17.4	-	-	100.0 (23)	82.6		17.4	-	-				
	統合失調症	100.0 (252)	52.0		31.7	15.9	0.4	100.0 (252)	53.2		29.8	15.9	1.2	100.0 (252)	59.5		24.2	15.9	0.4				
	そううつ病、うつ病	100.0 (171)	47.4		39.8	12.3	0.6	100.0 (171)	48.0		37.4	13.5	1.2	100.0 (171)	54.4		30.4	15.2	-				
	人格障害	100.0 (15)	33.3		33.3	33.3	-	100.0 (15)	33.3		40.0	26.7	-	100.0 (15)	26.7		53.3	20.0	-				
	てんかん	100.0 (52)	55.8		19.2	19.2	5.8	100.0 (52)	55.8		25.0	15.4	3.8	100.0 (52)	69.2		13.5	13.5	3.8				

(3) 日常生活動作能力 (d 身だしなみ e お金の管理 f 薬の管理 (決まった時間に飲むなど))

- 年齢階級、障害の等級、診断名〔複数回答〕別

日常生活動作能力 (d 身だしなみ e お金の管理 f 薬の管理 (決まった時間に飲むなど)) について年齢階級別にみると、「f 薬の管理」を「ひとりで全部できる」の割合は30代～50代で7割以上となっている。

障害の等級別にみると「e お金の管理」が「全部手助けが必要」の割合は1級で5割を超えている。(55.9%)(表 -4-2)

表 -4-2 日常生活動作能力 (d 身だしなみ e お金の管理 f 薬の管理
(決まった時間に飲むなど)) - 年齢階級、障害の等級、診断名〔複数回答〕別

		d 身だしなみ					e お金の管理					f 薬の管理 (決まった時間に飲むなど)					
		総 数	で き る ひ と り で 全 部	の 波 が あ い と き と	で で き な い と き と	必 要 全 部 手 助 け が	無 回 答	総 数	で き る ひ と り で 全 部	の 波 が あ い と き と	で で き な い と き と	必 要 全 部 手 助 け が	無 回 答	総 数	で き る ひ と り で 全 部	の 波 が あ い と き と	で で き な い と き と
総数		100.0 (529)	69.8	21.6	8.7	-	100.0 (529)	60.9	17.4	20.6	1.1	100.0 (529)	72.6	14.4	12.5	0.6	
年 齢 階 級 別	29歳以下	100.0 (34)	85.3	14.7	-	-	100.0 (34)	67.6	14.7	17.6	-	100.0 (34)	55.9	35.3	8.8	-	
	30～39歳	100.0 (118)	67.8	26.3	5.9	-	100.0 (118)	60.2	18.6	17.8	3.4	100.0 (118)	<u>72.9</u>	16.9	10.2	-	
	40～49歳	100.0 (130)	67.7	26.9	5.4	-	100.0 (130)	60.0	19.2	20.0	0.8	100.0 (130)	<u>76.9</u>	16.9	6.2	-	
	50～59歳	100.0 (111)	75.7	18.9	5.4	-	100.0 (111)	69.4	18.0	12.6	-	100.0 (111)	<u>82.0</u>	9.9	8.1	-	
	60～69歳	100.0 (95)	69.5	16.8	13.7	-	100.0 (95)	58.9	15.8	24.2	1.1	100.0 (95)	69.5	9.5	17.9	3.2	
	70歳以上	100.0 (41)	53.7	14.6	31.7	-	100.0 (41)	41.5	12.2	46.3	-	100.0 (41)	53.7	4.9	41.5	-	
	(再掲)総数 65歳以上	100.0 (87)	57.5	16.1	26.4	-	100.0 (87)	43.7	18.4	37.9	-	100.0 (87)	58.6	6.9	33.3	1.1	
障 害 の 等 級 別	1級	100.0 (68)	50.0	19.1	30.9	-	100.0 (68)	26.5	17.6	<u>55.9</u>	-	100.0 (68)	38.2	16.2	45.6	-	
	2級	100.0 (267)	69.3	22.8	7.9	-	100.0 (267)	62.2	18.4	18.0	1.5	100.0 (267)	74.5	14.2	10.9	0.4	
	3級	100.0 (194)	77.3	20.6	2.1	-	100.0 (194)	71.1	16.0	11.9	1.0	100.0 (194)	82.0	13.9	3.1	1.0	
診 断 名 (複 数 回 答) 別	アルコール・ 薬物依存症	100.0 (23)	78.3	21.7	-	-	100.0 (23)	65.2	21.7	8.7	4.3	100.0 (23)	87.0	8.7	4.3	-	
	統合失調症	100.0 (252)	71.4	21.4	7.1	-	100.0 (252)	61.1	17.1	20.2	1.6	100.0 (252)	76.6	13.5	9.9	-	
	そううつ病、う つ病	100.0 (171)	70.8	25.1	4.1	-	100.0 (171)	62.0	22.8	14.6	0.6	100.0 (171)	73.1	21.1	5.8	-	
	人格障害	100.0 (15)	66.7	20.0	13.3	-	100.0 (15)	40.0	26.7	26.7	6.7	100.0 (15)	46.7	26.7	26.7	-	
	てんかん	100.0 (52)	69.2	26.9	3.8	-	100.0 (52)	69.2	13.5	17.3	-	100.0 (52)	73.1	15.4	9.6	1.9	

(4) 日常生活動作能力 (g 銀行、郵便局等の利用 h バス、電車等の利用)

- 年齢階級、障害の等級、診断名〔複数回答〕別

日常生活動作能力 (g 銀行、郵便局等の利用 h バス、電車等の利用) について年齢階級別にみると、「g 銀行、郵便局等の利用」が「全部手助けが必要」の割合は 60 代 (32.6%)、70 代 (53.7%) で高い。

障害の等級別にみると「g 銀行、郵便局等の利用」「h バス、電車等の利用」が「全部手助けが必要」の割合は 1 級で 5 割を超えている。(表 -4-3)

表 -4-3 日常生活動作能力 (g 銀行、郵便局等の利用 h バス、電車等の利用)

- 年齢階級、障害の等級、診断名〔複数回答〕別

		g 銀行、郵便局等の利用					h バス、電車等の利用				
		総 数	で ひ と り で 全 部	の で 波 が な い と き	で き る と き	必 全 要 部 手 助 け が	総 数	で ひ と り で 全 部	の で 波 が な い と き	で き る と き	必 全 要 部 手 助 け が
						無 回 答					無 回 答
総数		100.0 (529)	60.1	12.3	25.5	2.1	100.0 (529)	70.9	11.7	15.5	1.9
年齢階級別	29歳以下	100.0 (34)	58.8	17.6	23.5	-	100.0 (34)	76.5	11.8	8.8	2.9
	30～39歳	100.0 (118)	66.1	14.4	16.9	2.5	100.0 (118)	70.3	11.9	14.4	3.4
	40～49歳	100.0 (130)	55.4	17.7	24.6	2.3	100.0 (130)	70.8	18.5	8.5	2.3
	50～59歳	100.0 (111)	69.4	9.0	19.8	1.8	100.0 (111)	79.3	9.0	11.7	-
	60～69歳	100.0 (95)	56.8	7.4	<u>32.6</u>	3.2	100.0 (95)	71.6	8.4	17.9	2.1
	70歳以上	100.0 (41)	41.5	4.9	<u>53.7</u>	-	100.0 (41)	43.9	4.9	51.2	-
	(再掲)総数 65歳以上	100.0 (87)	48.3	6.9	44.8	-	100.0 (87)	50.6	10.3	37.9	1.1
障害の等級別	1級	100.0 (68)	20.6	10.3	<u>66.2</u>	2.9	100.0 (68)	38.2	10.3	<u>50.0</u>	1.5
	2級	100.0 (267)	61.4	13.5	23.6	1.5	100.0 (267)	74.9	12.0	12.0	1.1
	3級	100.0 (194)	72.2	11.3	13.9	2.6	100.0 (194)	76.8	11.9	8.2	3.1
診断名 (複数回答)別	アルコール・ 薬物依存症	100.0 (23)	78.3	8.7	8.7	4.3	100.0 (23)	82.6	8.7	8.7	-
	統合失調症	100.0 (252)	58.3	12.3	26.6	2.8	100.0 (252)	74.6	10.3	13.1	2.0
	そううつ病、う つ病	100.0 (171)	62.6	19.9	17.0	0.6	100.0 (171)	70.2	16.4	11.1	2.3
	人格障害	100.0 (15)	53.3	20.0	26.7	-	100.0 (15)	53.3	20.0	26.7	-
	てんかん	100.0 (52)	53.8	9.6	28.8	7.7	100.0 (52)	73.1	15.4	9.6	1.9

(5) 過去1年間で困ったこと〔複数回答〕 - 年齢階級、診断名〔複数回答〕別

過去1年間で困ったことは「夜間や休日に具合が悪くなって困った」割合が最も高い

過去1年間で何か「困ったことがある」と答えた割合は、60.1%、「特に困ったことはない」割合は38.6%で、前回調査（15年度調査）と比べると「困ったことがある」の割合は4.0ポイント減少し、「特に困ったことはない」の割合は5.0ポイント増加した。

困った内容は、「夜間や休日に具合が悪くなって困った」の割合が最も高く31.2%で、年齢階級別にみると49歳以下の年齢階級で総数の割合よりも高くなっている。（表 -4-4）

問 あなたは、過去1年間で何か困ったことはありますか。

表 -4-4 過去1年間で困ったこと〔複数回答〕

- 年齢階級、診断名〔複数回答〕別

		総 数	困 っ た こ と が あ る	く な っ て 困 っ た	夜 間 や 休 日 に 具 合 が 悪 く な っ て 困 っ た	た る と こ ろ が な く て 困 っ た	夜 間 や 休 日 に 相 談 で き な い	け を し て く れ る 人 が い な い	家 族 の 病 気 や 外 出 な ど	学 校 や 職 場 や 地 域 生 活 と し た 問 題 で 困 っ た	金 銭 の 管 理 や 財 産 の 保 全 に 当 た っ て 困 っ た	行 く と き 同 行 者 が い な い た め 困 っ た	役 所 や 公 共 機 関 な ど に つ い て 理 解 が な い	障 害 に つ い て 理 解 が な い	困 っ た 日 中 の 居 場 所 が な く て	家 を 借 り る こ と が で き な く て 困 っ た	保 証 人 が い な い た め 、 家 を 借 り る こ と が で き な い	そ の 他	特 に 困 っ た こ と は な い	無 回 答
総数		100.0 (529)	60.1	31.2	18.3		14.9	17.8	13.4	11.0	12.7	7.8	4.0	13.6	38.6	1.3				
年 齢 階 級 別	29歳以下	100.0 (34)	85.3	41.2	20.6		20.6	26.5	17.6	11.8	11.8	11.8	2.9	11.8	14.7	-				
	30～39歳	100.0 (118)	70.3	35.6	22.9		10.2	28.8	15.3	9.3	14.4	14.4	4.2	11.9	29.7	-				
	40～49歳	100.0 (130)	69.2	40.0	25.4		20.0	20.8	18.5	17.7	20.0	10.8	4.6	15.4	27.7	3.1				
	50～59歳	100.0 (111)	49.5	22.5	12.6		11.7	12.6	9.9	10.8	9.0	2.7	2.7	13.5	49.5	0.9				
	60～69歳	100.0 (95)	47.4	23.2	10.5		13.7	9.5	9.5	4.2	5.3	3.2	5.3	13.7	50.5	2.1				
	70歳以上	100.0 (41)	39.0	24.4	14.6		19.5	2.4	7.3	9.8	12.2	-	2.4	14.6	61.0	-				
	(再掲)総数 65歳以上	100.0 (87)	44.8	25.3	12.6		17.2	5.7	10.3	8.0	10.3	1.1	3.4	14.9	52.9	2.3				
診 断 名 (複 数 回 答) 別	アルコール・ 薬物依存症	100.0 (23)	56.5	34.8	17.4		8.7	13.0	21.7	4.3	13.0	8.7	8.7	4.3	43.5	-				
	統合失調症	100.0 (252)	54.8	28.6	17.1		11.5	16.3	11.5	8.3	9.1	7.1	2.4	10.7	44.0	1.2				
	そううつ病、う つ病	100.0 (171)	69.0	33.9	21.6		19.3	22.8	15.2	14.0	18.7	9.4	2.3	17.5	29.8	1.2				
	人格障害	100.0 (15)	86.7	53.3	26.7		40.0	40.0	33.3	26.7	20.0	13.3	13.3	6.7	13.3	-				
	てんかん	100.0 (52)	61.5	38.5	13.5		13.5	17.3	7.7	11.5	7.7	3.8	3.8	17.3	34.6	3.8				
15年度調査		100.0 (529)	64.1	34.2	19.3		16.1	20.0	12.5	8.5	13.6	11.7	6.8	14.0	33.6	2.3				

5 就労の状況

(1) 収入を伴う仕事の有無（調査基準日現在） - 年齢階級別

「^{しごと}仕事をしている（^{きょうどうさぎもうちょうしよ}共同作業所などを含む）」人の割合は、^{ふく}前回調査よりも0.2ポイント上^{ひと}昇^{わりあい}し26.5%^{ぜんかいちようさ}（^{じようしやう}上昇）

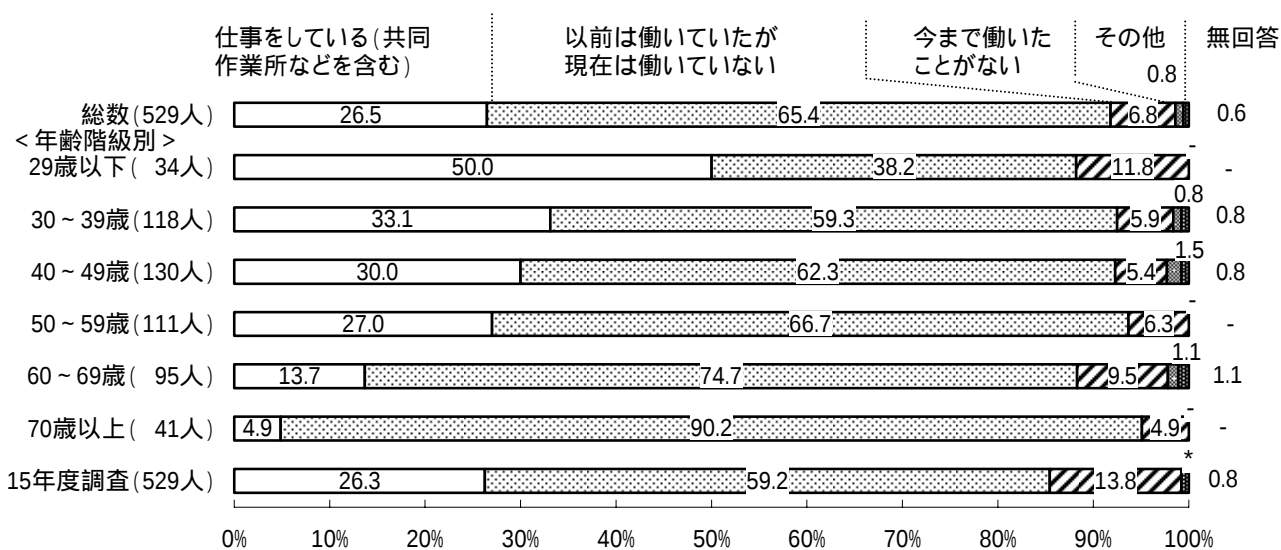
調査基準日現在に収入を伴う仕事をしているか聞いたところ、「仕事をしている（共同作業所などを含む）」割合は26.5%、「以前は働いていたが現在は働いていない」が65.4%、「今まで働いたことがない」は6.8%であった。

年齢階級別にみると、「仕事をしている（共同作業所などを含む）」割合は、全ての年齢階級において5割に満たない。

前回調査（15年度調査）と比べて「仕事をしている（共同作業所などを含む）」割合は0.2ポイント上昇した。（図 -5-1）

問 あなたは平成20年10月15日（調査基準日）現在、^{へいせい}収入を伴う^{ねん}仕事^{がつ}をしていますか。^{にち}
^{ちようさきじゆん}び^{げんざい}しゆうにゆう^{ともな}しごと

図 -5-1 収入を伴う仕事の有無（調査基準日現在） - 年齢階級別

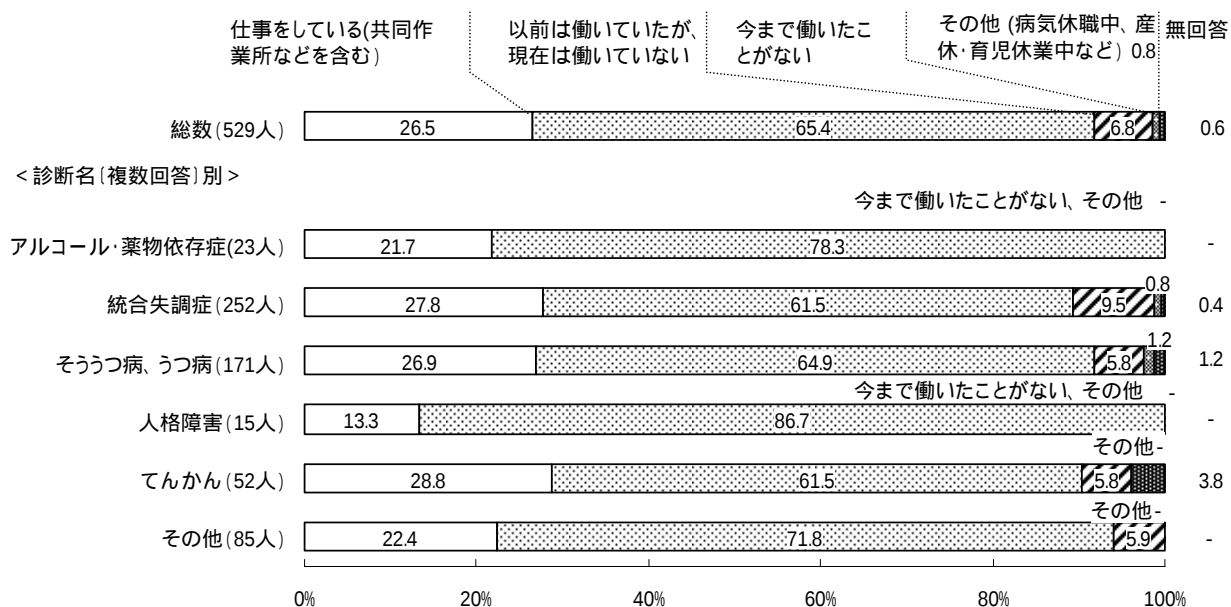


（注）前回調査（15年度調査）では「その他（病気休職中、産休・育児休業中など）」の選択肢は設けていない。

(2) 収入を伴う仕事の有無 - 診断名〔複数回答〕別

収入を伴う仕事の有無を診断名〔複数回答〕別にみると、統合失調症の人の約1割(9.5%)が「今まで働いたことはない」と回答した。(図 -5-2)

図 -5-2 収入を伴う仕事の有無 - 診断名〔複数回答〕別



(3) 仕事の種類〔複数回答〕 - 年齢階級、精神障害者保健福祉手帳の障害の等級別

仕事をしている 140 人が対象

前回調査よりも一般就労（正規の職員・従業員、アルバイト等）の割合が 19.7 ポイント上昇

仕事の種類を聞いたところ、「正規の職員・従業員」の割合が 11.4%、「パート・アルバイト・日雇等」が 42.9%で、これらを合わせた一般就労の割合は 54.3%であった。前回調査（15 年度調査）の一般就労（「正規の職員・従業員、パート・アルバイト・日雇等」）の割合（34.5%）と比べると 19.7 ポイント上昇した。一方、「作業所・授産施設等で就労」の割合は 42.9%で前回調査（15 年度調査）（56.8%）よりも 13.9 ポイント減少した。

年齢階級別にみると、一般就労（「正規の職員・従業員、パート・アルバイト・日雇等」）の割合は、29 歳以下で 76.5%と高くなっている。（表 -5-1）

問 仕事の種類は何ですか。

表 -5-1 仕事の種類〔複数回答〕 - 年齢階級、精神障害者保健福祉手帳の障害の等級別

		総数	業正 員規 の職 員・従	約 （派遣 職員を 含む）	イ パ ー ト ・ 日 雇 等	自 営 業	家 業 の 手 伝 い	内 職	設作 等業 で所 就・授 産施	そ の 他
総数		100.0 (140)	11.4	42.9	54.3	2.9	0.7	1.4	42.9	1.4
年齢階級別	29歳以下	100.0 (17)	5.9	70.6	76.5	-	5.9	-	23.5	-
	30～39歳	100.0 (39)	10.3	41.0	51.3	5.1	-	2.6	41.0	-
	40～49歳	100.0 (39)	20.5	30.8	51.3	-	-	2.6	48.7	-
	50～59歳	100.0 (30)	10.0	50.0	60.0	-	-	-	43.3	-
	60歳以上	100.0 (15)	-	33.3	33.3	13.3	-	-	53.3	13.3
	(再掲)総数 65歳以上	100.0 (8)	-	25.0	25.0	-	-	-	62.5	12.5
障害の等級別	1級	100.0 (6)	16.7	16.7	33.4	-	16.7	-	50.0	-
	2級	100.0 (72)	5.6	30.6	36.2	1.4	-	2.8	59.7	2.8
	3級	100.0 (62)	17.7	59.7	77.4	4.8	-	-	22.6	-
15年度調査		100.0 (139)	11.5	23.0	34.5	5.8	4.3	1.4	56.8	2.2

(注)・本文中のパート・アルバイト・日雇等には派遣職員・契約職員を含む。

・表頭の「会社等の役員」は該当者がいなかったため省略した。

(4) 1 週間の就労日数 - 仕事の種類〔複数回答〕、診断名〔複数回答〕別

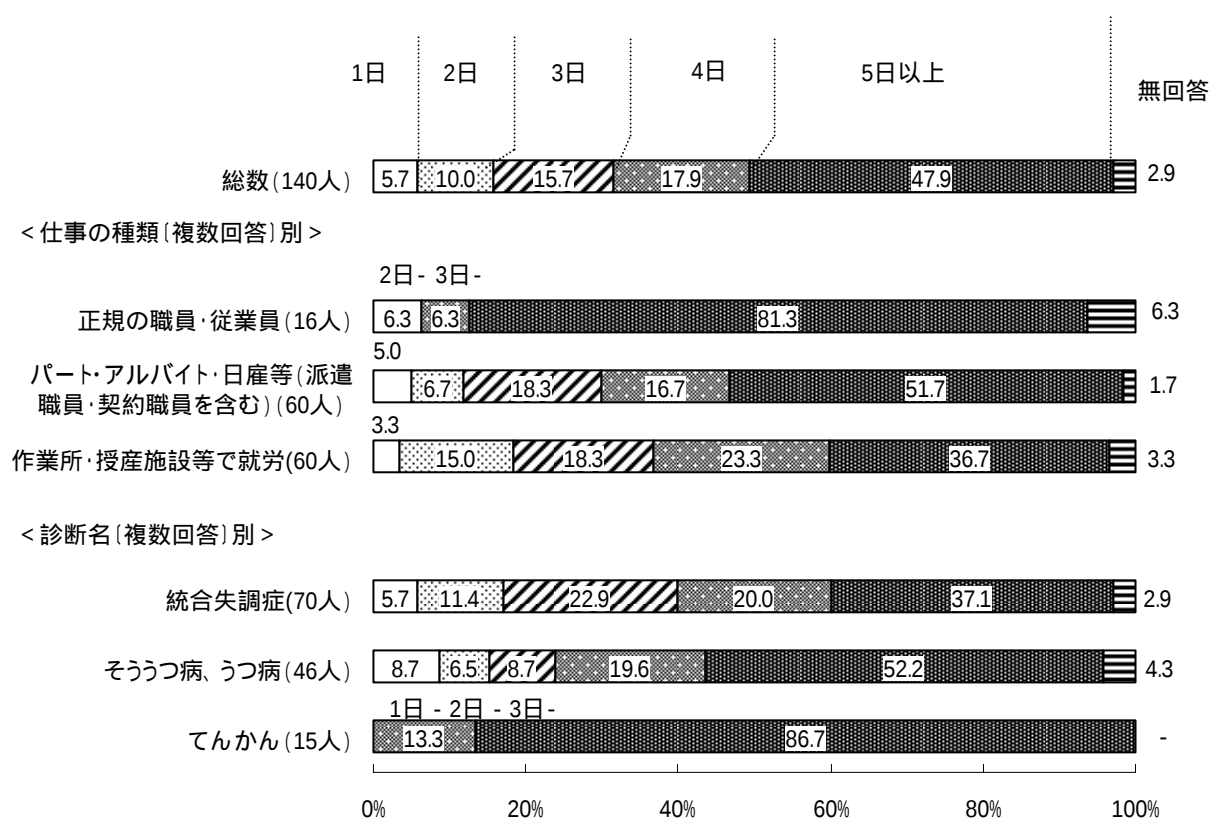
仕事をしている 140 人が対象

1 週間の就労日数は「5 日以上」が 47.9%

1 週間の就労日数は「5 日以上」が 47.9%と半数未満であった。(図 -5-3)

1 週間の就労日数はどのくらいですか。

図 -5-3 1 週間の就労日数 - 仕事の種類〔複数回答〕、診断名〔複数回答〕別



(5) 1 週間の労働時間 - 仕事の種類〔複数回答〕、診断名〔複数回答〕別

仕事をしている 140 人が対象

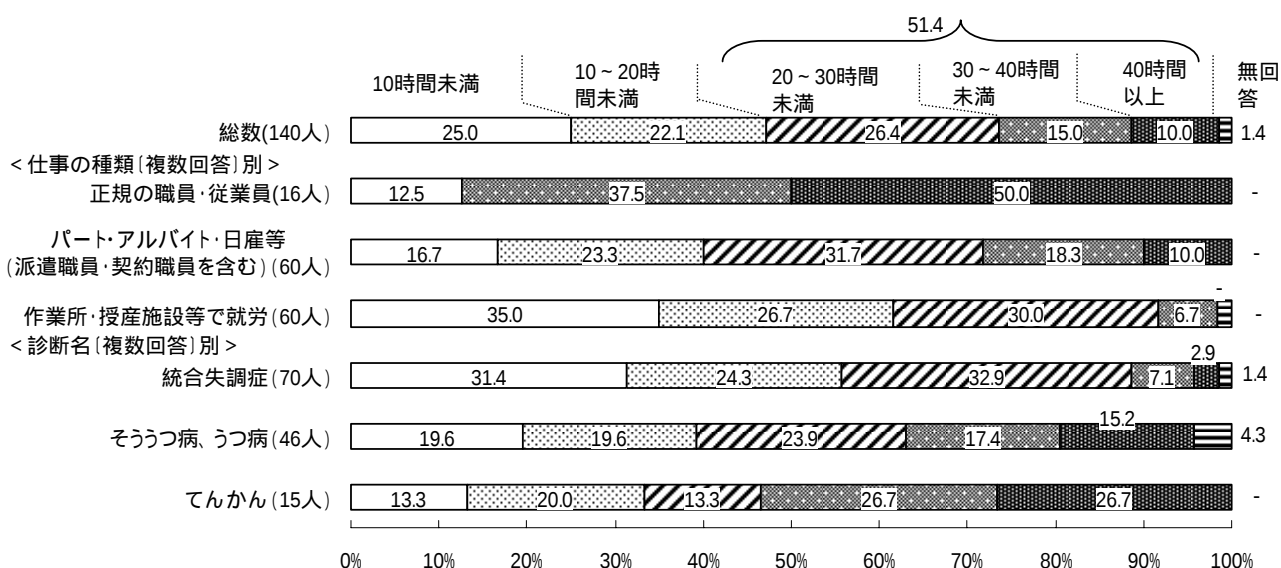
1 週間に 20 時間以上労働している人の割合は 51.4% で、作業所・授産施設等では「10 時間未満」の割合が最も高い

1 週間の労働時間は 20 時間以上の割合が 51.4% となっている。

仕事の種類別にみると作業所・授産施設等で就労の割合は、「10 時間未満」の割合が 35.5% と最も高い。(図 -5-4)

問 1 週間の労働時間はどのくらいですか。

図 -5-4 1 週間の労働時間 - 仕事の種類〔複数回答〕、診断名〔複数回答〕別



(6) 就職した時期 - 性別

仕事をしている人（共同作業所など含む）の内、仕事の種類が正規の職員・従業員、会社等の役員、パート・アルバイト・日雇等（契約職員、派遣職員を含む）の76人が対象

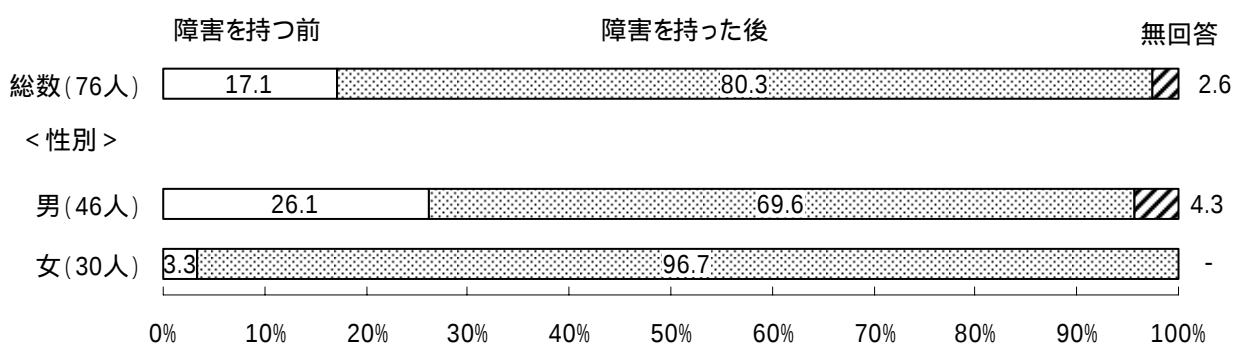
現在の就職先に就職した時期は「障害を持った後」が80.3%

現在の就職先に就職した時期は障害を持つ前か、それとも持った後か聞いたところ、「障害を持つ前」が17.1%、「障害を持った後」が80.3%であった。

性別でみると、女性では96.7%が「障害を持った後」と回答した。（図 -5-5）

問 現在の就職先に就職したのは障害を持つ前ですか、それとも持った後ですか。

図 -5-5 就職した時期 - 性別



(7) 就職をするために支援を受けたところ（人）〔複数回答〕 - 性別

仕事の種類が正規の職員・従業員、会社等の役員、パート・アルバイト・日雇等（契約職員、派遣職員を含む）の内、障害を持った後に現在の就職先に就職した61人が対象

就職をするために支援を受けたところは、「ハローワーク」の割合が最も高い

就職をするために支援を受けたところ（人）は、「ハローワーク」の割合が31.1%と最も高く、次いで「区市町村就労者支援センター、障害者就業・生活支援センター」の18.0%となっている。性別でみると、男性では「ハローワーク」の割合が37.5%と高いが、女性では「支援は受けなかった」の割合が34.5%と高くなっている。（表 -5-2）

問 どこ（誰）の支援を受けて現在の仕事に就きましたか。

表 -5-2 就職をするために支援を受けたところ（人）〔複数回答〕 - 性別

	総数	ハローワーク	区市町村障害者就業・生活支援センター	学校	家族	知人	作業所、授産施設等	福祉団体	その他	支援は受けなかった
総数	100.0 (61)	31.1	18.0	1.6	6.6	13.1	4.9	1.6	14.8	26.2
男	100.0 (32)	37.5	28.1	-	3.1	9.4	9.4	3.1	18.8	18.8
女	100.0 (29)	24.1	6.9	3.4	10.3	17.2	-	-	10.3	34.5

(8) 現在の仕事に就いてからの期間 - 性別

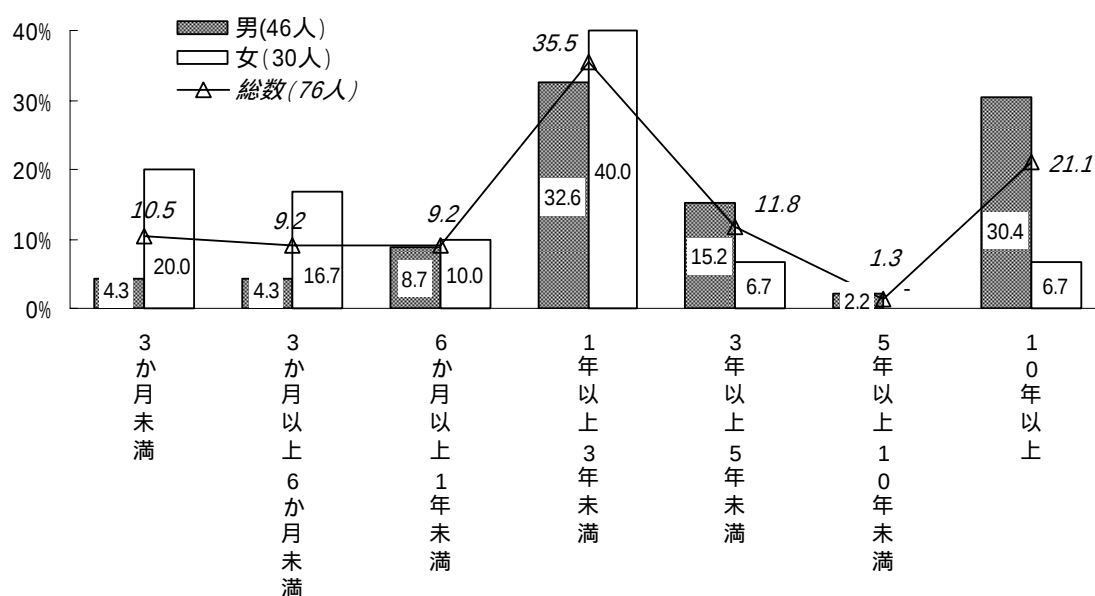
仕事をしている人（共同作業所など含む）の内、仕事の種類が正規の職員・従業員、会社等の役員、パート・アルバイト・日雇等（契約職員、派遣職員を含む）の76人が対象

現在の仕事に就いてからの期間は「1年以上3年未満」が35.5%

現在の仕事に就いてからの期間は「1年以上3年未満」の割合が最も高く35.5%、次いで「10年以上」の21.1%と続く。性別にみると、男性で「10年以上」の割合が30.4%と高く、女性で「1年以上3年未満」が40.0%と高くなっている。（図 -5-6）

問 現在の仕事に就いてからの期間はどれくらいですか。

図 -5-6 現在の仕事に就いてからの期間 - 性別



(9) 仕事をしていく上で困ること〔複数回答〕 - 性別

仕事をしている人（共同作業所など含む）の内、仕事の種類が正規の職員・従業員、会社等の役員、パート・アルバイト・日雇等（契約職員、派遣職員を含む）の76人が対象

仕事をしていく上で困ることは、男性では「定期的な通院や健康管理との両立」、女性では「人間関係（職場内でのいじめなど）」の割合が最も高い

仕事をしていく上で「困ることがある」と答えた割合は76.3%、「困ることは特にない」は18.4%であった。性別でみると、男性では「定期的な通院や健康管理との両立」の割合が26.1%で最も高く、女性では「人間関係（職場内でのいじめなど）」の割合が46.7%と最も高い。（表-5-3）

問 仕事をしていく上で困ることは何ですか。

表 -5-3 仕事をしていく上で困ること〔複数回答〕 - 性別

	総数	困ることがある	仕事の内容	人間関係（職場内でのいじめなど）	えない手段・方法がない	言いたいことを伝えることが相手に通じない	職場の物理的環境（バリアフリー化が不十分）	勤務時間・日数	通勤距離・時間	通勤時の混雑	定期的な通院や健康管理との両立	育児・介護との両立	その他	困ることは特にない	無回答
総数	100.0 (76)	<u>76.3</u>	11.8	27.6	11.8	19.7	3.9	11.8	5.3	6.6	23.7	3.9	10.5	<u>18.4</u>	5.3
男	100.0 (46)	<u>73.9</u>	4.3	15.2	4.3	17.4	2.2	13.0	6.5	8.7	<u>26.1</u>	-	15.2	17.4	8.7
女	100.0 (30)	<u>80.0</u>	23.3	<u>46.7</u>	23.3	23.3	6.7	10.0	3.3	3.3	20.0	10.0	3.3	20.0	-

(10) 仕事で困ったときの相談先〔複数回答〕 - 性別

仕事をしている人（共同作業所など含む）の内、仕事の種類が正規の職員・従業員、会社等の役員、パート・アルバイト・日雇等（契約職員、派遣職員を含む）の76人が対象

仕事で困ったときの相談先は、男性では「会社の上司」、女性では「家族」の割合が最も高い

仕事で困ったときの相談先を男女別にみると、男性では「会社の上司」の割合が最も高く52.2%、女性では「家族」の割合が50.0%と最も高い。（表-5-4）

問 仕事で困ったことがあったとき、誰に相談しますか。

表 -5-4 仕事で困ったときの相談先〔複数回答〕 - 性別

	総 数	会 社 の 上 司	会 社 の 同 僚	職 場 に 派 遣 さ れ た ジ ョ ブ コ ー チ	就 労 支 援 セ ン タ ー 等 の 職 員	家 族	会 社 の 同 僚 以 外 の 友 人	施 設 の 職 員 、 グ ル ー プ ホ ー ム の 世 話 人 等	出 身 校 の 教 員	そ の 他	相 談 す る 相 手 は い な い	今 ま で 特 に 困 っ た こ と は な い	無 回 答
総数	100.0 (76)	38.2	31.6	5.3	13.2	42.1	21.1	9.2	2.6	15.8	6.6	1.3	1.3
男	100.0 (46)	<u>52.2</u>	34.8	8.7	15.2	37.0	21.7	10.9	2.2	13.0	6.5	2.2	2.2
女	100.0 (30)	16.7	26.7	-	10.0	<u>50.0</u>	20.0	6.7	3.3	20.0	6.7	-	-

(11) 作業所、授産施設の利用の有無 - 性別・仕事の種類〔複数回答〕別

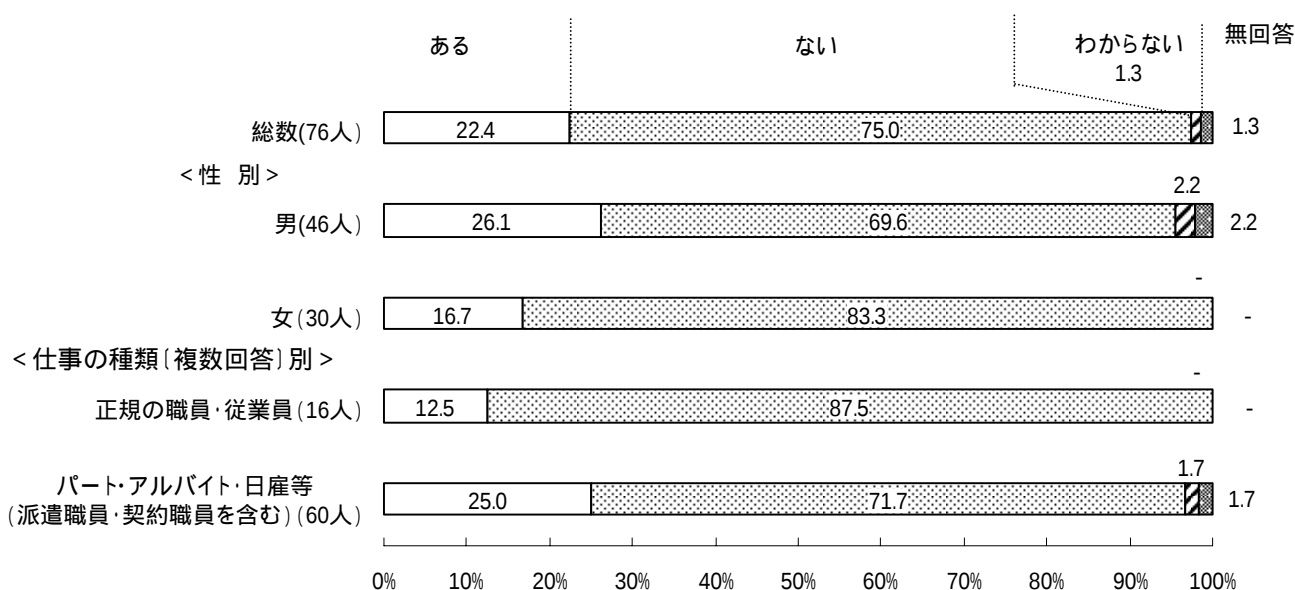
仕事をしている人（共同作業所など含む）の内、仕事の種類が正規の職員・従業員、会社等の役員、パート・アルバイト・日雇等（契約職員、派遣職員を含む）の76人が対象

これまでに^{さぎょうしょ}作業所や^{じゅさんしせつとう}授産施設等^{りよう}を利用したことが「ある」^{せいき}正規の職員等^{しよくいんとう}の割合は22.4%^{わりあい}

これまでに、作業所や授産施設等を利用したことがあるか聞いたところ、「ある」の割合が22.4%、「ない」の割合は75.0%であった。仕事の種類別にみると「ある」の割合は、正規の職員・従業員が12.5%、パート・アルバイト・日雇等（契約職員、派遣職員を含む）が25.0%となっている。（図 -5-7）

問 これまでに、^{さぎょうしょ}作業所や^{じゅさんしせつとう}授産施設等^{りよう}を利用したことがありますか。

図 -5-7 作業所、授産施設の利用の有無 - 性別・仕事の種類〔複数回答〕別



(12) 現在仕事をしていない理由〔複数回答〕 - 年齢階級、収入を伴う仕事の有無別

以前は働いていたが、現在は働いていない人及び今まで働いたことがない人（382 人）が対象

現在、仕事をしていない理由は「健康上の理由（病気等を含む）」の割合が最も高く 79.3%、次いで、「受け入れてくれる職場がないため」が 18.6%

現在、仕事をしていない理由は「健康上の理由（病気等を含む）」の割合が 79.3%と最も高く、次いで「受け入れてくれる職場がないため」が 18.6%となっている。

年齢階級別にみると「健康上の理由（病気等を含む）」の割合は、40代～50代で8割を超えている。（表 -5-5）

問 現在、仕事をしていない理由は何ですか。

表 -5-5 現在仕事をしていない理由〔複数回答〕 - 年齢階級、収入を伴う仕事の有無別

		総 数	が自 分に 適し た仕 事	健康 上の理 由（病 気等含 む）	会社 倒産、 人員整 頓	家庭の 都合（結 婚、育 児、介 護な ど）	高齢の ため（定 年 を含む）	通勤 に負 担が かか る	人間 関係 がた まに な る	事業 がた まに な る
総数		100.0 (382)	12.8	79.3	0.8	5.5	15.7	3.7	18.3	0.8
年齢 階級 別	29歳以下	100.0 (17)	11.8	76.5	-	-	-	5.9	36.3	-
	30～39歳	100.0 (77)	15.6	75.3	-	9.1	-	5.2	19.5	-
	40～49歳	100.0 (88)	10.2	88.6	2.3	6.8	-	8.0	29.5	-
	50～59歳	100.0 (81)	23.5	84.0	-	6.2	7.4	1.2	19.8	1.2
	60～69歳	100.0 (80)	7.5	77.5	1.3	2.5	37.5	1.3	7.5	2.5
	70歳以上	100.0 (39)	2.6	61.5	-	2.6	61.5	-	2.6	-
	(再掲) 65歳以上	100.0 (79)	3.8	68.4	1.3	3.8	55.7	1.3	2.5	2.5
有 無 別	以前は働いていたが、 現在は働いていない	100.0 (346)	13.3	79.8	0.9	5.8	16.5	4.0	18.8	0.9
	今まで働いたことはな い	100.0 (36)	8.3	75.0	-	2.8	8.3	-	13.9	-

無 回 答	そ の 他	働きたくないため	働く必要がないため	受け入れてくれる職場がないため	職業訓練施設で技能習得中のため	就学のため	利用料の方が工賃より高くなっているため	勤務条件（賃金、労働条件）に不満があるため
2.9	5.2	5.5	2.9	<u>18.6</u>	0.8	0.3	0.3	3.1
11.8	23.5	5.9	-	23.5	-	-	-	-
2.6	5.2	7.8	2.6	26.0	-	-	1.3	2.6
2.3	4.5	4.5	1.1	21.6	2.3	-	-	6.8
1.2	4.9	7.4	2.5	19.8	1.2	1.2	-	3.7
5.0	2.5	3.8	2.5	12.5	-	-	-	1.3
-	5.1	2.6	10.3	5.1	-	-	-	-
2.5	3.8	1.3	5.1	10.1	-	-	-	-
2.0	4.9	4.9	2.3	19.1	0.9	0.3	0.3	3.5
11.1	8.3	11.1	8.3	13.9	-	-	-	-

(13) 会社等での就労経験の有無 - 収入を伴う仕事の有無別

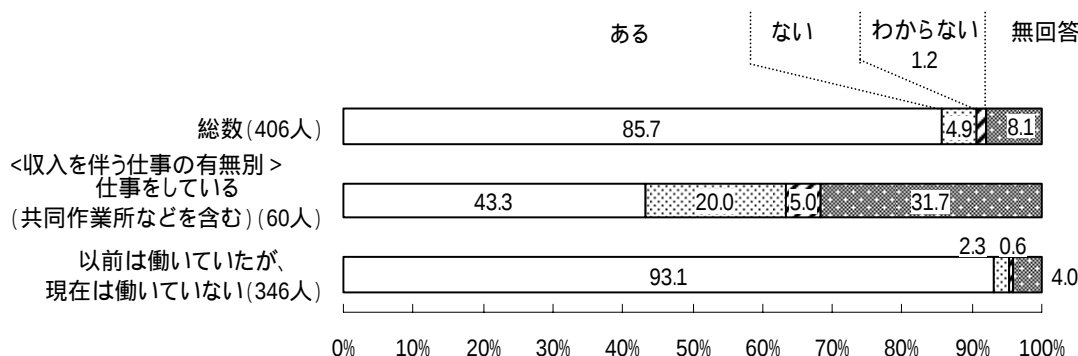
以前は働いていたが、現在は働いていない人及び作業所施設等で就労している 406 人が対象

過去、会社等で働いたこと（パート、アルバイト等を含む）が「ある」割合は 85.7%

過去に会社等で働いたこと（パート、アルバイト等を含む）が「ある」と答えた割合は 85.7%、「ない」は 4.9%であった。（図 -5-8）

問 あなたは、過去、会社等で働いたこと（パート、アルバイト等を含む）がありますか。

図 -5-8 会社等での就労経験の有無 - 収入を伴う仕事の有無別



(14) 会社等での就労意向の有無 - 精神障害者保健福祉手帳の障害の等級別

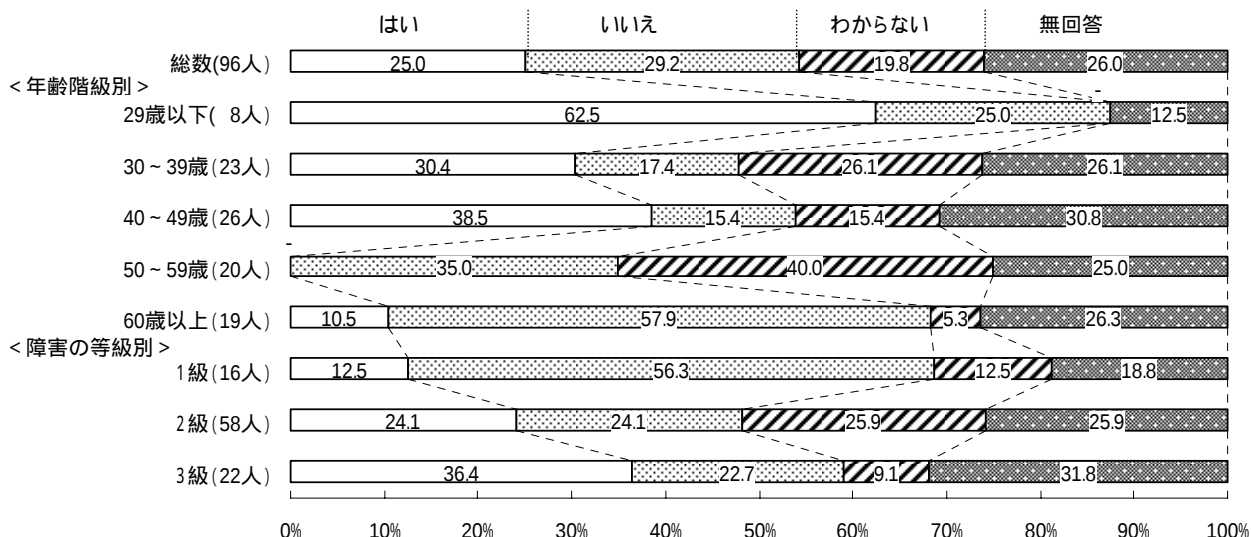
今まで働いたことがない人と作業所・授産施設等で就労している人（96 人）が対象

今後、会社等で働きたい（パート、アルバイト等を含む）人は 25.0%

今後、会社等（パート、アルバイト等を含む）で働きたいか聞いたところ、「はい」と答えた割合は 25.0%で、障害の等級別にみると等級が軽くなる（1 級から 3 級）につれて「はい」と答えた割合は増加している。（図 -5-9）

問 今後、会社等で働きたい（パート、アルバイト等を含む）と思いますか。

図 -5-9 会社等での就労意向の有無 - 精神障害者保健福祉手帳の障害の等級別



(15) 現在会社等で働いていない理由

今まで働いたことがない人及び作業所・授産施設等で就労している人の中で、今後、会社等で働きたい（パート、アルバイト等を含む）と答えた 24 人が対象

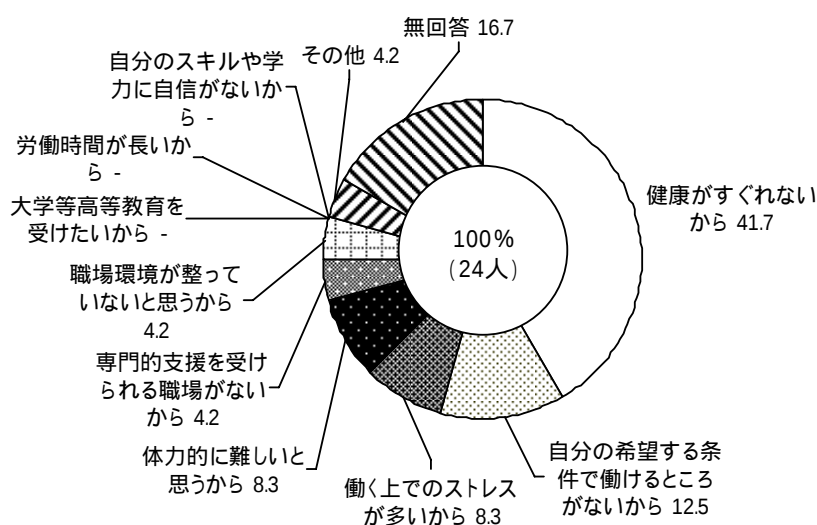
現在、会社等で働いていない理由は「健康がすぐれないから」の割合が最も高い

今後、会社等で働きたい（パート、アルバイト等を含む）と答えた 24 人に、現在、仕事をしていない理由を聞いたところ、「健康がすぐれないから」の割合が最も高く 41.7%であった。

(図 -5-10)

問 現在、会社等で働いていない（パート、アルバイト等を含む）のはなぜですか。

図 -5-10 現在会社等で働いていない理由



6 経済基盤

(1) 収入の種類〔3つまでの複数回答〕

- 年齢階級、年間収入額（生活保護費を除く）、診断名〔複数回答〕別

収入の種類は「年金・恩給」の割合が52.9%、「生活保護費」が31.0%

平成19年中の収入の種類（複数回答）は、「年金・恩給」の割合が52.9%と最も高く、次いで「生活保護費」の割合が31.0%となっている。

「年金・恩給」の割合を年間収入額別にみると50～100万円未満で88.5%、診断名別に見ると統合失調症で61.5%とそれぞれ高くなっている。（表 -6-1）

問 平成19年中のあなたご自身の収入の種類についてお聞きします。

表 -6-1 収入の種類〔3つまでの複数回答〕

- 年齢階級、年間収入額（生活保護費を除く）、診断名〔複数回答〕別

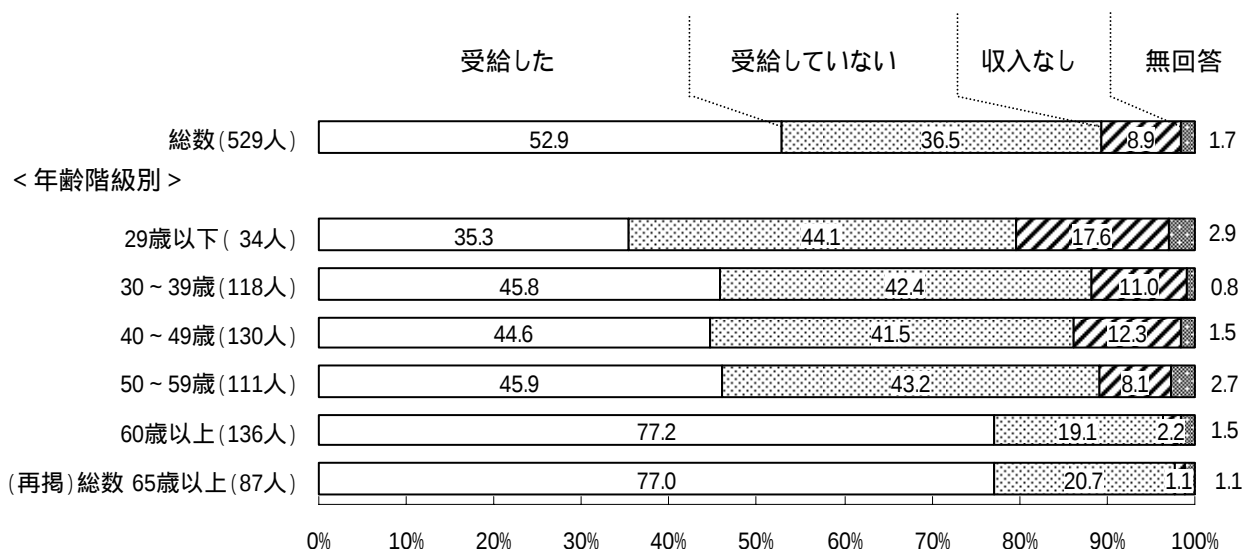
	総数	賃金・給料	事業所得	内職収入	家賃・地代	利子・配当	仕送り	養育費・慰謝料	年金・恩給	生活保護費	手当	雇用保険	保険金・補償金	作業所等の工賃	その他の収入	収入はなかった	無回答
総数	100.0 (529)	17.2	0.8	0.2	1.1	1.1	2.6	0.6	52.9	31.0	9.1	0.9	0.4	8.5	6.0	8.9	1.7
年齢階級別	29歳以下 (34)	100.0	35.3	-	-	-	2.9	2.9	35.3	8.8	20.6	-	-	11.8	14.7	17.6	2.9
	30～39歳 (118)	100.0	22.9	1.7	-	-	5.1	-	45.8	22.9	7.6	1.7	-	11.0	3.4	11.0	0.8
	40～49歳 (130)	100.0	19.2	-	-	1.5	0.8	0.8	44.6	36.9	12.3	0.8	0.8	10.0	5.4	12.3	1.5
	50～59歳 (111)	100.0	18.0	0.9	0.9	0.9	1.8	0.9	45.9	35.1	6.3	1.8	0.9	8.1	7.2	8.1	2.7
	60歳以上 (136)	100.0	5.1	0.7	-	2.2	1.5	1.5	77.2	34.6	6.6	-	-	4.4	5.9	2.2	1.5
	(再掲)総数 65歳以上 (87)	100.0	3.4	-	-	3.4	1.1	2.3	77.0	32.2	4.6	-	-	4.6	5.7	1.1	1.1
(生活保護費を除く)	収入なし (103)	100.0	-	-	-	-	-	-	-	59.2	1.9	-	-	-	-	40.8	-
	50万円未満 (81)	100.0	18.5	1.2	1.2	1.2	-	8.6	1.2	34.6	28.4	13.6	1.2	-	18.5	16.0	1.2
	50～100万円未満 (156)	100.0	9.6	-	-	0.6	1.3	0.6	88.5	20.5	8.3	0.6	0.6	10.9	5.8	-	-
	100～150万円未満 (67)	100.0	31.3	-	-	-	-	1.5	80.6	29.9	13.4	1.5	-	6.0	6.0	-	-
	150～200万円未満 (40)	100.0	25.0	2.5	-	5.0	2.5	5.0	75.0	25.0	20.0	2.5	-	12.5	5.0	-	-
	200万円以上 (46)	100.0	56.5	4.3	-	4.3	6.5	8.7	50.0	6.5	6.5	2.2	2.2	6.5	4.3	-	2.2
診断名〔複数回答〕別	アルコール・薬物依存症 (23)	100.0	21.7	-	-	-	4.3	-	30.4	52.2	4.3	-	-	-	4.3	17.4	-
	統合失調症 (252)	100.0	13.9	0.4	0.4	0.8	0.8	0.4	61.5	36.1	7.5	-	-	12.3	5.2	6.0	2.0
	そううつ病、うつ病 (171)	100.0	24.0	1.8	-	0.6	2.3	5.3	44.4	30.4	11.7	2.9	1.2	5.3	6.4	7.6	1.2
	人格障害 (15)	100.0	13.3	-	-	6.7	-	13.3	-	40.0	40.0	13.3	-	6.7	-	20.0	-
	てんかん (52)	100.0	23.1	-	-	1.9	-	-	59.6	25.0	11.5	-	-	9.6	1.9	13.5	-
	その他 (85)	100.0	15.3	1.2	-	3.5	-	3.5	52.9	21.2	15.3	1.2	-	4.7	9.4	8.2	1.2
15年度調査	(529)	100.0	21.2	1.1	1.5	2.5	0.9	3.4	52.6	25.7	9.1	0.4	-	...	4.2	13.6	2.5

（注）前回調査（15年度調査）では「作業所の工賃」は「賃金・給料」に含めて聞いている。

(2) 年金・恩給の受給の有無 - 年齢階級別

平成 19 年中に年金・恩給を「受給した」割合を年齢階級別にみると、65 歳以上で 77.0% と高くなっている。(図 -6-1)

図 -6-1 年金・恩給の受給の有無 - 年齢階級別

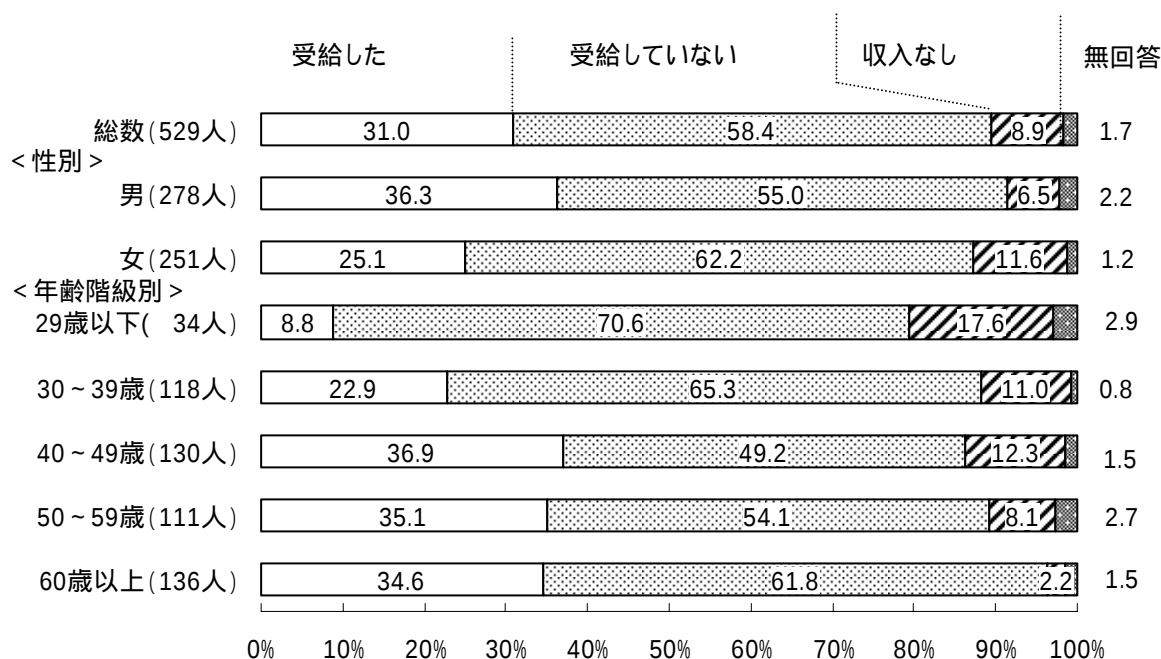


(3) 生活保護の受給の有無 - 年齢階級別

平成 19 年中に生活保護を「受給した」割合を性別にみると「受給した」割合は、女性(25.1%) よりも男性(36.3%) の方が高い。

年齢階級別にみると「受給した」割合は、40 歳以上の階級で 3 割以上となっている。(図 -6-2)

図 -6-2 生活保護の受給の有無 - 年齢階級別



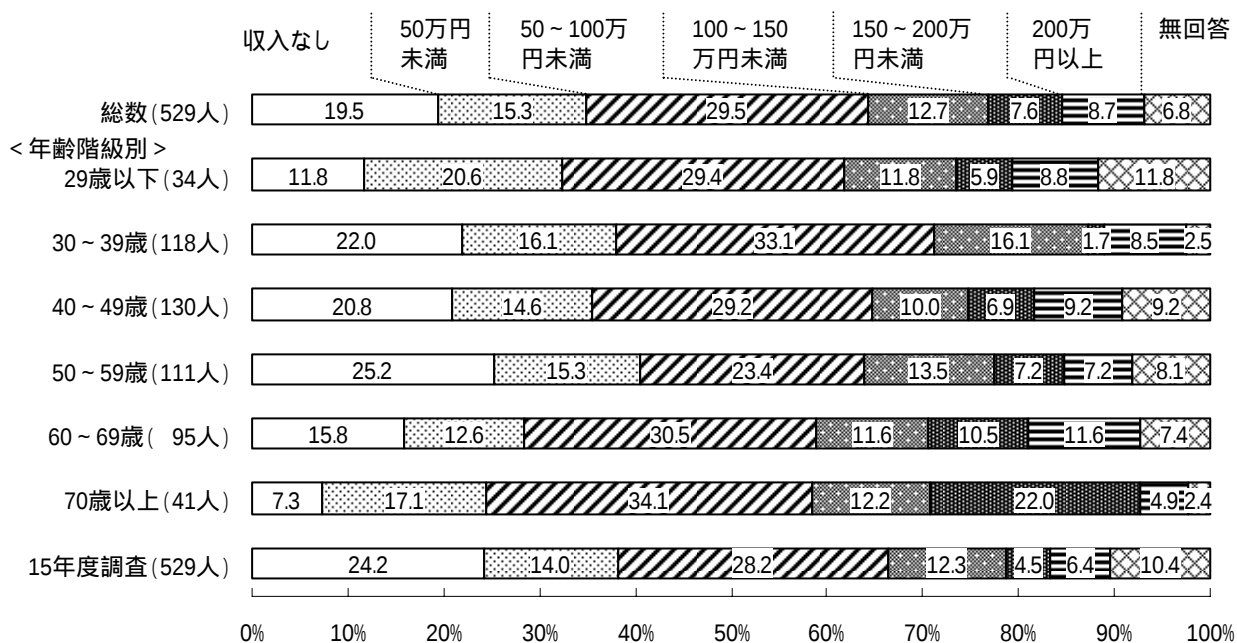
(4) 年間収入額（生活保護費を除く） - 年齢階級別

年収は「50～100万円未満」の割合が最も高い

平成19年中の収入額は「50～100万円未満」の割合が高く29.5%である。年齢階級別にみると30～39歳では「収入なし」も含めた100万円未満の割合が7割を超えている（71.2%）。（図 -6-3）

問 あなたの平成19年中の収入額はいくらですか。収入には、ご自身で働いて得た収入や作業所などからの収入のほか、あなたの年金・手当による収入や家族からの仕送りや小遣いを含みますが、生活保護費は除きます。

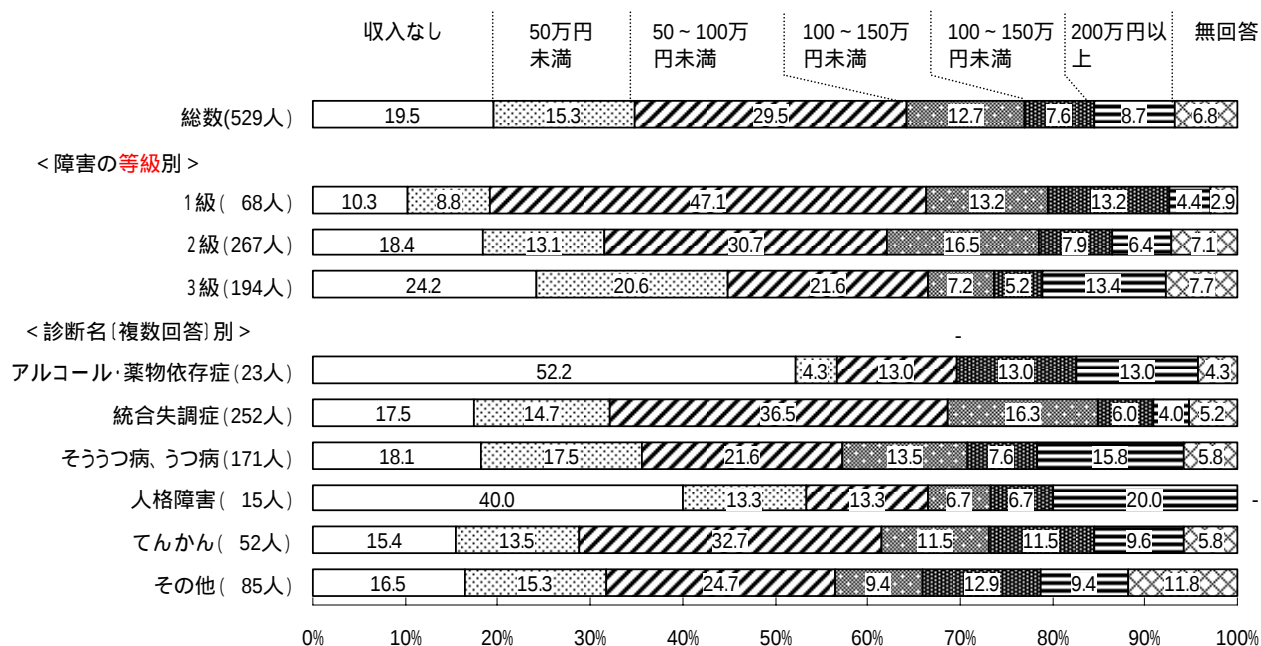
図 -6-3 年間収入額（生活保護費を除く） - 年齢階級別



(5) 年間収入額 (生活保護費を除く) - 障害の等級、診断名〔複数回答〕別

平成 19 年中の収入額を障害の等級別でみると、1 級では「50～100 万円未満」の割合が 47.1% と 5 割弱となっており、診断名別にみると、アルコール・薬物依存症、人格障害で「収入なし」の割合がそれぞれ高い。(アルコール・薬物依存症 52.2%、人格障害 40.0%)(図 -6-4)

図 -6-4 年間収入額 (生活保護費を除く) - 障害の等級、診断名〔複数回答〕別



7 社会参加

(1) 平日の日中に過ごす場所 - 年齢階級、診断名〔複数回答〕別

前回調査よりも「自分の家」で過ごす割合が 5.7 ポイント、「職場」で過ごす割合が 3.9 ポイント増加

平日の日中に過ごす場所について聞いたところ、「自分の家」の割合が 66.9%と最も高く、次いで「職場」の割合が 9.8%となっている。前回調査（15 年度調査）と比べると、「自分の家」が 5.7 ポイント、「職場」が 3.9 ポイント増加した。（表 -7-1）

問 この 1 年間にあなたは、平日の日中主にどこで過ごしましたか。

表 -7-1 平日の日中に過ごす場所 - 年齢階級、診断名〔複数回答〕別

	総数	自分の家	職場	学校	通所施設など (作業所、授産施設等)	地域活動支援センター	デイケア等	入所施設 (福祉ホーム等)	その他	無回答
総数	100.0 (529)	66.9	9.8	0.2	8.3	1.5	5.1	3.2	4.7	0.2
年齢階級別	29歳以下	100.0 (34)	67.6	20.6	-	2.9	2.9	-	5.9	-
	30～39歳	100.0 (118)	66.1	12.7	-	10.2	1.7	4.2	0.8	0.8
	40～49歳	100.0 (130)	65.4	12.3	-	11.5	1.5	6.2	2.3	0.8
	50～59歳	100.0 (111)	64.0	9.9	0.9	8.1	1.8	7.2	0.9	7.2
	60歳以上	100.0 (136)	71.3	2.2	-	5.1	0.7	4.4	8.8	7.4
	(再掲)65歳以上	100.0 (87)	64.4	2.3	-	4.6	1.1	5.7	10.3	11.5
診断名 (複数回答)別	アルコール・薬物依存症	100.0 (23)	60.9	21.7	-	4.3	-	4.3	8.7	-
	統合失調症	100.0 (252)	64.7	6.3	-	11.9	2.8	7.1	4.4	2.4
	そううつ病、うつ病	100.0 (171)	74.9	13.5	-	2.9	-	3.5	0.6	4.1
	人格障害	100.0 (15)	86.7	6.7	-	-	-	-	6.7	-
	てんかん	100.0 (52)	57.7	19.2	1.9	13.5	-	5.8	1.9	-
	その他	100.0 (85)	65.9	10.6	-	7.1	1.2	1.2	4.7	9.4
15年度調査	100.0 (529)	61.2	5.9	0.6	13.8	0.9	6.2	2.8	7.9	0.6

(2) 現在利用している施設に対する不満〔2つまでの複数回答〕

- 性別、平日の日中主に過ごしたところ別

平日の日中主に通所施設（作業所、授産施設など）、地域活動センター、デイケア等、入所施設で過ごしている 96 人が対象

現在利用している施設に対する不満の内容は、「**工賃が少ない**」の割合が**最も高い**

平日の日中主に通所施設（作業所、授産施設など）、地域活動センター、デイケア等、入所施設で過ごしている人で、現在利用している施設に「不満がある」と答えた割合は 47.9%、「不満はない」は 45.8%であった。

平日の日中主に通所施設（作業所、授産施設など）で過ごした人は「不満がある」の割合が 63.6%で、その内容は「工賃が少ない」の割合が 50.0%と高くなっている。（表 -7-2）

あなたは、現在利用している施設に対して不満はありますか。

表 -7-2 現在利用している施設に対する不満〔2つまでの複数回答〕

- 性別、平日の日中主に過ごしたところ別

	総数	不満がある	自由がない	個室がない	プライバシーが確保されていない	言いたいことが言えない	情報がコミュニケーションがとれない	職員の利用者がいる接し方	皆と同じサイクルで生活しなければならぬ	自由に外出ができない	住宅街から離れている	利用者・職員以外の人の交流がない	家族とあまり会えない	訓練や作業にやりがいがない	工賃が少ない	医療的ケアが足りない	送迎の体制が不十分	その他	不満はない	無回答
総数	100.0 (96)	47.9	3.1	4.2	5.2	12.5	6.3	9.4	6.3	2.1	1.0	4.2	3.1	2.1	24.0	2.1	2.1	6.3	45.8	6.3
性別																				
男	100.0 (60)	45.0	1.7	1.7	3.3	8.3	5.0	6.7	6.7	3.3	-	3.3	3.3	1.7	23.3	3.3	3.3	6.7	46.7	8.3
女	100.0 (36)	52.8	5.6	8.3	8.3	19.4	8.3	13.9	5.6	-	2.8	5.6	2.8	2.8	25.0	-	-	5.6	44.4	2.8
平日の日中主に過ごしたところ別																				
通所施設(作業所、授産施設など)	100.0 (44)	63.6	2.3	2.3	2.3	13.6	6.8	15.9	9.1	-	-	4.5	-	4.5	50.0	2.3	4.5	4.5	34.1	2.3
地域活動支援センター	100.0 (8)	37.5	-	12.5	12.5	25.0	25.0	-	12.5	12.5	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	12.5
デイケア等	100.0 (27)	33.3	3.7	-	7.4	7.4	3.7	3.7	3.7	3.7	-	3.7	3.7	-	3.7	3.7	-	11.1	55.6	11.1
入所施設(生活訓練施設、福祉ホーム等)	100.0 (17)	35.3	5.9	11.8	5.9	11.8	-	5.9	-	-	5.9	5.9	11.8	-	-	-	-	5.9	58.8	5.9

(3) 趣味や社会活動への参加〔複数回答〕 - 年齢階級、診断名〔複数回答〕別

前回調査よりも「コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞、見物」の割合が6.0ポイント上昇

この1年間に行った趣味、学習、スポーツ、社会活動について聞いたところ、「コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞、見物」の割合が最も高く34.4%、「活動したいと思うができない」が22.7%と続く。

前回調査(15年度調査)と比べて「コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞、見物」の割合は、6.0ポイント増加した。(表 -7-3)

問 この1年間にあなたは、趣味や学習、スポーツ、社会活動などの活動をしましたか。

表 -7-3 趣味や社会活動への参加〔複数回答〕 - 年齢階級、診断名〔複数回答〕別

		総 数	どの鑑賞、見物	コンサートや映画	レジャー活動	学習活動	趣味の活動（スポーツ、文化）	ボランティア活動	自助グループなどの活動	参加できない場所がない	活動したいと思えない	活動したいと思わない	その他	無回答
総数		100.0 (529)	34.4	12.3	11.2	25.1	6.4	2.6	1.9	22.7	20.0	3.4	5.5	
年齢階級別	29歳以下	100.0 (34)	67.6	23.5	14.7	32.4	11.8	-	-	14.7	11.8	-	-	
	30～39歳	100.0 (118)	47.5	16.1	14.4	32.2	7.6	3.4	1.7	23.7	11.9	4.2	5.1	
	40～49歳	100.0 (130)	30.0	14.6	15.4	20.0	6.2	1.5	2.3	26.9	17.7	3.8	5.4	
	50～59歳	100.0 (111)	31.5	10.8	13.5	24.3	9.9	6.3	2.7	20.7	21.6	1.8	4.5	
	60～69歳	100.0 (95)	26.3	5.3	2.1	27.4	2.1	1.1	2.1	20.0	28.4	1.1	7.4	
	70歳以上	100.0 (41)	9.8	4.9	-	12.1	-	-	-	24.4	34.1	12.2	9.8	
診断名（複数回答）別	アルコール・薬物依存症	100.0 (23)	21.7	13.0	4.3	26.1	8.7	26.1	-	8.7	30.4	-	4.3	
	統合失調症	100.0 (252)	36.9	13.9	12.7	25.0	7.5	2.4	2.0	21.4	19.0	3.6	4.4	
	そううつ病、うつ病	100.0 (171)	36.3	12.3	11.1	27.5	7.0	2.3	1.2	26.3	18.1	2.9	3.5	
	人格障害	100.0 (15)	26.7	20.0	20.0	33.3	6.7	6.7	-	26.7	26.7	-	6.7	
	てんかん	100.0 (52)	32.7	15.4	5.8	32.7	9.6	1.9	-	19.2	19.2	1.9	5.8	
	その他	100.0 (85)	31.8	4.7	8.2	15.3	5.9	-	3.5	25.9	18.8	4.7	8.2	
15年度調査		100.0	28.4	17.8	11.2	27.4	7.2	6.6	...	...	...	5.7	1.5	

(注) 前回調査(15年度調査)では「参加できる活動場所がない」「活動したいと思うができない」「活動したいと思わない」の選択肢は設けていない。

(4) 社会参加をする上で、妨げになっていること〔3つまでの複数回答〕

- 年齢階級、診断名〔複数回答〕別

「^{まわ}周りの人の^{ひと}障害者に対する^{しょうがいしゃ}理解不足^{ない}」が社会参加をする上で^り妨げ^{いかいふそく}になっている人は22.9%
^{しゃかいさんか}社会参加をする上で^{うえ}妨^{さまた}げ^{ひと}になっている人は22.9%

社会参加をする上で妨げになっていることを聞いたところ、「経済的な理由」の割合が24.6%、「周りの人の障害者に対する理解不足」が22.9%とそれぞれ高い。

「経済的な理由」の割合は、前回調査（15年度調査）と比べて4.9ポイント減少した。

「周りの人の障害者に対する理解不足」の割合は、年齢階級別にみると29歳以下が38.2%、診断名別にみるとてんかんが38.5%と高くなっている。（表 -7-4）

問 ^{しゃかいさんか}社会参加をする上で、^{うえ}妨^{さまた}げ^{ひと}になっていることはありますか。

表 -7-4 社会参加をする上で、妨げになっていること〔3つまでの複数回答〕

- 年齢階級、診断名〔複数回答〕別

		総 数	経 済 的 な 理 由	い 介 助 者 が い な い	情 報 が な い	理 害 周 解 者 に の 足 対 人 す の 障	を 拒 設 害 を 否 等 の 理 由 に 用 い る	手 適 が 切 い な 相 談 相	間 一 が 緒 い に 行 い く 仲	そ の 他	特 に な い	無 回 答
総数		100.0 (529)	24.6	4.0	11.0	22.9	2.6	10.0	15.7	16.1	33.6	2.8
年 齢 階 級 別	29歳以下	100.0 (34)	20.6	-	17.6	38.2	5.9	8.8	26.5	8.8	26.5	-
	30～39歳	100.0 (118)	30.5	5.1	16.1	29.7	1.7	8.5	22.9	16.9	24.6	3.4
	40～49歳	100.0 (130)	28.5	3.8	9.2	24.6	3.8	13.1	17.7	18.5	28.5	3.1
	50～59歳	100.0 (111)	27.9	0.9	8.1	22.5	1.8	10.8	10.8	18.0	36.0	0.9
	60～69歳	100.0 (95)	16.8	5.3	12.6	10.5	2.1	11.6	8.4	11.6	42.1	6.3
	70歳以上	100.0 (41)	7.3	7.3	-	14.6	2.4	-	9.8	17.1	56.1	-
	(再掲)65歳以上	100.0 (87)	13.8	8.0	5.7	12.6	1.1	8.0	9.2	11.5	49.4	4.6
診 断 名 〔 複 数 回 答 〕 別	アルコール・薬物依存症	100.0 (23)	8.7	-	8.7	17.4	4.3	4.3	8.7	8.7	52.2	4.3
	統合失調症	100.0 (252)	23.4	4.4	12.7	23.8	2.0	9.5	17.5	14.7	32.5	2.0
	そううつ病、うつ病	100.0 (171)	29.8	3.5	12.3	23.4	1.8	14.6	18.7	18.1	29.8	2.9
	人格障害	100.0 (15)	26.7	-	13.3	26.7	6.7	13.3	13.3	26.7	40.0	-
	てんかん	100.0 (52)	21.2	1.9	5.8	38.5	3.8	3.8	7.7	19.2	26.9	7.7
	その他	100.0 (85)	28.2	7.1	12.9	15.3	3.5	11.8	15.3	18.8	31.8	3.5
15年度調査		100.0 (529)	29.5	9.1	14.2	25.7	2.1	18.3	15.5	11.5	29.9	5.5

(5) 障害のためにあきらめたり妥協したこと〔複数回答〕

- 年齢階級、診断名〔複数回答〕別

障害のためにあきらめたり妥協したことは、「就職」が最も高く 41.0%

障害のためにあきらめたり妥協したことの割合は、「就職」が 41.0%、「旅行や遠距離の外出」が 37.6%、「人付き合い」が 29.7%とそれぞれ高くなっている。

年齢階級別にみると「就職」の割合は 40 代が高く 56.2%、「旅行や遠距離の外出」の割合は 70 歳以上で 43.9%と高く、「人付き合い」の割合は 30 代で 38.1%と高い。

診断名別にみると「就職」の割合はてんかんが高く 55.8%、「人付き合い」の割合は人格障害で 60.0%と高くなっている。(表 -7-5)

問 あなたは障害を持っているためにあきらめたり、妥協せざるを得なかったことがありますか。

表 -7-5 障害のためにあきらめたり妥協したこと〔複数回答〕

- 年齢階級、診断名〔複数回答〕別

	総数	進学	就職	異性との付き合い	結婚	出産・育児	人付き合い	近距離の外出	旅行や遠距離の外出	ファッションな	スポーツ・文化活動	その他	特にな	無回答
総数	100.0 (529)	10.8	41.0	22.3	25.0	11.2	29.7	15.9	37.6	13.4	18.1	4.2	22.5	3.0
年齢階級別	29歳以下 (34)	20.6	44.1	26.5	11.8	14.7	29.4	11.8	38.2	8.8	14.7	-	26.5	-
	30～39歳 (118)	19.5	48.3	37.3	36.4	20.3	38.1	16.9	39.0	17.8	16.1	1.7	18.6	1.7
	40～49歳 (130)	10.8	56.2	27.7	36.2	15.4	36.9	16.9	43.1	21.5	25.4	4.6	13.8	2.3
	50～59歳 (111)	4.5	41.4	14.4	19.8	5.4	21.6	13.5	27.0	6.3	17.1	8.1	23.4	1.8
	60～69歳 (95)	6.3	24.2	11.6	13.7	2.1	22.1	14.7	37.9	9.5	17.9	4.2	30.5	7.4
	70歳以上 (41)	4.9	7.3	4.9	7.3	4.9	22.0	22.0	43.9	7.3	7.3	2.4	36.6	4.9
	(再掲)65歳以上 (87)	3.4	11.5	6.9	8.0	3.4	23.0	17.2	42.5	8.0	12.6	3.4	36.8	8.0
診断名〔複数回答〕別	アルコール・薬物依存症 (23)	8.7	47.8	21.7	8.7	4.3	21.7	-	34.8	17.4	21.7	4.3	26.1	4.3
	統合失調症 (252)	12.3	40.9	25.4	31.0	15.1	29.8	14.3	35.7	13.9	14.7	3.6	24.6	2.8
	そううつ病、うつ病 (171)	8.8	40.4	24.6	25.1	11.1	36.3	19.3	45.0	16.4	24.6	5.3	19.3	1.8
	人格障害 (15)	20.0	46.7	26.7	26.7	13.3	60.0	33.3	60.0	33.3	53.3	6.7	20.0	-
	てんかん (52)	13.5	55.8	28.8	34.6	17.3	26.9	11.5	36.5	5.8	23.1	3.8	9.6	1.9
	その他 (85)	9.4	35.3	11.8	10.6	7.1	36.5	21.2	49.4	16.5	28.2	4.7	17.6	3.5
15年度調査	100.0 (87)	11.0	42.3	21.7	26.5	8.9	29.7	12.1	31.0	9.8	18.7	4.7	24.0	2.5

8 情報の入手やコミュニケーションの手段

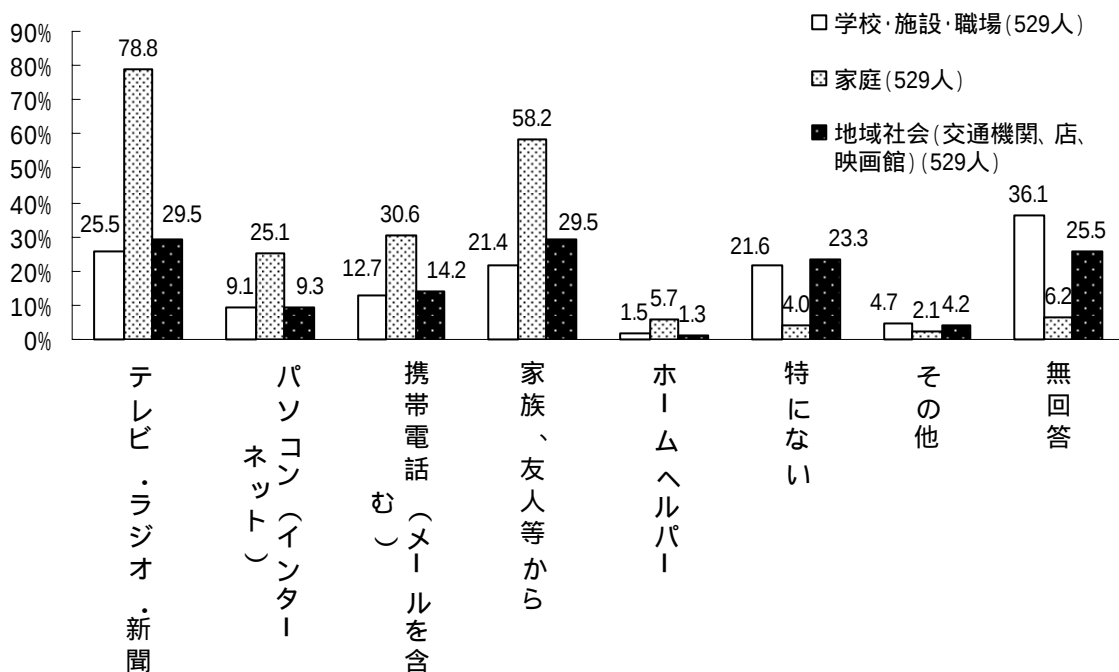
(1) 情報の入手やコミュニケーションの手段

情報の入手やコミュニケーションの手段は「学校・施設・職場」「家庭」「地域社会」では「テレビ・ラジオ・新聞」の割合が最も高い

「学校・施設・職場」「家庭」「地域社会」のそれぞれの場所において、どのようにして情報を得たり、コミュニケーションをとったりしているか聞いた。「学校・施設・職場」「家庭」では、最も高い割合は「テレビ・ラジオ・新聞」となっている。(図 -8-1)

問 あなたは、「学校・施設・職場」「家庭」「地域社会」のそれぞれの場所において、どのようにして情報を得たり、コミュニケーションをとったりしていますか。

図 -8-1 情報の入手やコミュニケーションの手段



(2) 情報を入手したりコミュニケーションをとる上で困ること

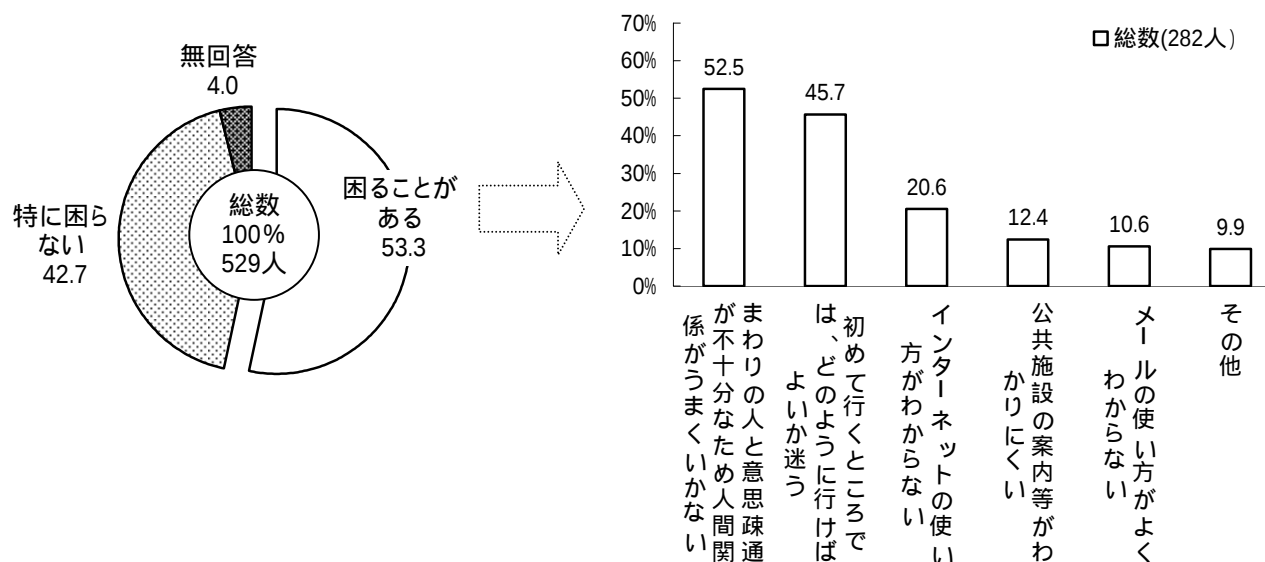
情報を入手したりコミュニケーションをとる上で困ることは、「まわりの人と意思疎通が不十分なため人間関係がうまくいかない」の割合が最も高い

情報を入手したり、コミュニケーションをとる上で困ることがあるか聞いたところ、「困ることがある」と答えた割合は53.3%と半数以上の方が困ることがあると回答した。

「困ることがある」の内容で最も割合が高かったは、「まわりの人と意思疎通が不十分なため人間関係がうまくいかない」で52.5%であった。(図 -8-2)

問 あなたは、情報を入手したり、コミュニケーションをとる上で困ることがありますか。

図 -8-2 情報を入手したりコミュニケーションをとる上で困ること



9 障害者自立支援法による障害福祉サービス等

(1) 障害者自立支援法で利用したサービス（過去1年間）〔複数回答〕

障害者自立支援法による障害福祉サービスを「利用している」割合は16.8%で、
日中活動系サービスの割合が最も高い

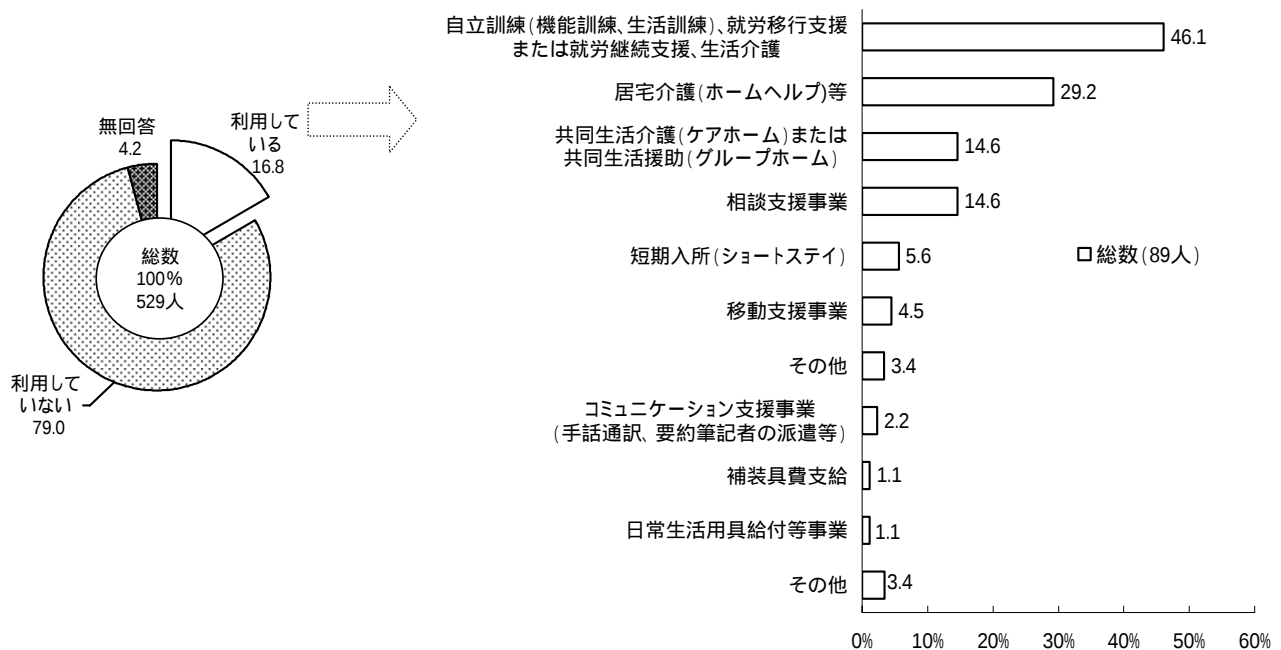
過去1年間に障害者自立支援法による障害福祉サービスを「利用している」割合は16.8%、
「利用していない」が79.0%であった。

利用している人（89人）の中で、最も利用したサービスの割合が高かったのは「自立訓練
（機能訓練、生活訓練）就労移行支援または就労継続支援、生活介護」で46.1%であった。

（図 -9-1）

問 過去1年間に障害者自立支援法による障害福祉サービスについて、どのような内容のサービスを利用しましたか。

図 -9-1 障害者自立支援法で利用したサービス（過去1年間）〔複数回答〕



(2) 障害者自立支援法で利用したサービス (過去 1 年間) [複数回答]

- 年齢階級、障害の等級別

障害者自立支援法で利用したサービス (過去 1 年間) について年齢階級別にみると、30 代、40 代で「利用している」割合が 2 割を超えている。利用したサービスを年齢階級別にみると、30 代では「自立訓練 (機能訓練、生活訓練) 就労移行支援または就労継続支援、生活介護」の割合が 15.3% で、他の年代よりも高くなっている。(表 -9-1)

表 -9-1 障害者自立支援法で利用したサービス (過去 1 年間) [複数回答]

- 年齢階級、障害の等級別

		総 数	利 用 し て い る	居 宅 介 護 （ ホ ー ム ヘ ル プ ） 等	短 期 入 所 （ シ ョ ー ト ス テ イ ）	支 援 ま た は 就 労 継 続 支 援 、 生 活 介 護	自 立 訓 練 （ 機 能 訓 練 、 生 活 訓 練 ） 、 就 労 移 行	ホ ー ム ヘ ル プ （ グ ル ー プ ）	共 同 生 活 介 護 （ ケ ア ホ ー ム ） ま た は 共 同 生 活 援 助 （ グ ル ー プ ）	補 装 具 費 支 給	相 談 支 援 事 業	支 援 事 業 （ 手 話 通 訳 、 要 約 筆 記 者 の 派 遣 等 ）	コ ミ ュ ニ ケー ション 支 援 事 業	日 常 生 活 用 具 給 付 等 事 業	移 動 支 援 事 業	そ の 他	利 用 し て い な い	無 回 答
総数		100.0 (529)	16.8	4.9	0.9	7.8	2.5	0.2	2.5	0.4	0.2	0.8	0.6	79.0	4.2			
年 齢 階 級 別	29歳以下	100.0 (34)	17.6	-	-	5.9	2.9	-	5.9	2.9	2.9	-	2.9	79.4	2.9			
	30～39歳	100.0 (118)	20.3	1.7	0.8	15.3	1.7	-	4.2	-	-	1.7	-	78.0	1.7			
	40～49歳	100.0 (130)	21.5	6.9	1.5	7.7	4.6	0.8	1.5	0.8	-	0.8	0.8	75.4	3.1			
	50～59歳	100.0 (111)	18.9	8.1	1.8	6.3	1.8	-	3.6	-	-	0.9	0.9	77.5	3.6			
	60～69歳	100.0 (95)	9.5	5.3	-	4.2	2.1	-	-	-	-	-	-	84.2	6.3			
	70歳以上	100.0 (41)	2.4	2.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	85.4	14.6			
	(再掲) 65歳以上	100.0 (87)	2.3	1.1	-	1.1	1.1	-	-	-	-	-	-	85.1	12.6			
	障害の等級別	100.0 (68)	10.3	4.4	2.9	4.4	2.9	-	-	-	-	-	1.5	83.8	5.9			
2級	100.0 (267)	21.0	6.7	0.7	9.7	2.2	0.4	3.4	0.7	0.4	0.7	0.4	76.4	2.6				
3級	100.0 (194)	13.4	2.6	0.5	6.2	2.6	-	2.1	-	-	1.0	0.5	80.9	5.7				

(3) 居宅介護等のサービスの種類〔複数回答〕

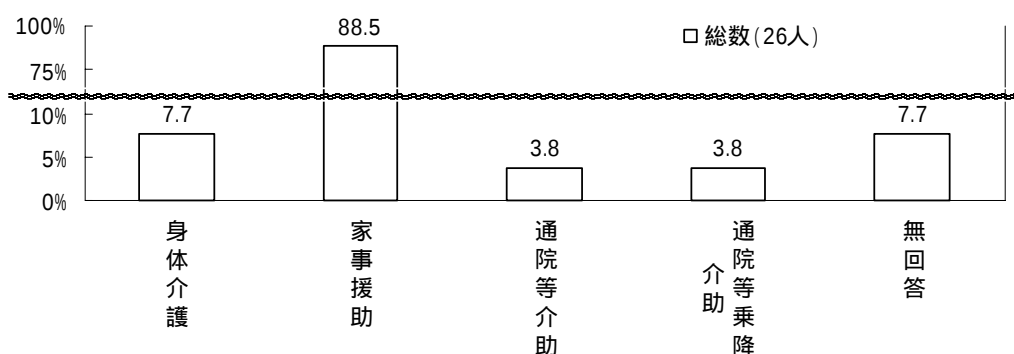
居宅介護（ホームヘルプ）等（重度訪問介護、行動援護、重度障害者等包括支援を含む）を利用している 26 人が対象

利用した居宅介護等のサービスの種類は「家事援助」が 88.5%

障害者自立支援法による障害福祉サービスで居宅介護（ホームヘルプ）等を利用した人は「家事援助」の割合が 88.5%と高くなっている。（図 -9-2）

問 あなたが利用した居宅介護等のサービスの種類は何ですか。

図 -9-2 居宅介護等のサービスの種類〔複数回答〕



（注）「重度訪問介護」「行動援護」「重度障害者等包括支援」は該当者がいなかったため省略した。

(4) サービス支給量は十分か（居宅介護、短期入所）

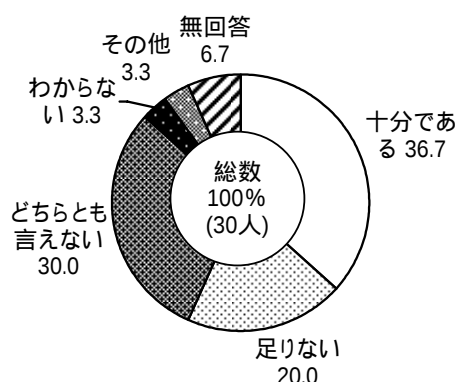
居宅介護（ホームヘルプ）等（重度訪問介護、行動援護、重度障害者等包括支援を含む）短期入所（ショートステイ）を利用している 30 人が対象

サービス支給量が「十分である」と思っている人は 36.7%

障害者自立法による障害福祉サービスで居宅介護（ホームヘルプ）等及び短期入所（ショートステイ）を利用した人に支給量は十分か聞いたところ「十分である」は 36.7%、「足りない」は 20.0%であった。（図 -9-3）

問 あなたが利用したサービスについて、支給量が十分だと思いますか。

図 -9-3 サービス支給量は十分か（居宅介護、短期入所）



(5) 障害者自立支援法における障害程度区分

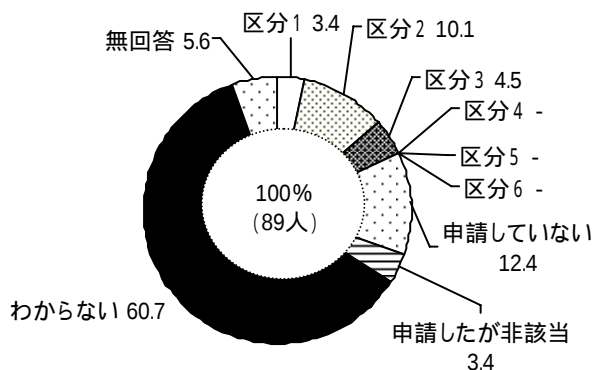
過去 1 年間に障害者自立支援法のサービスを利用した 89 人が対象

しょうがいいてどくぶん 障害程度区分は「区分2」が 10.1%

障害程度区分は「区分 2」の割合が 10.1%だが、「申請していない」が 12.4%、「わからない」も 60.7%となっている。(図 -9-4)

とい 問 あなたのしょうがいいてどくぶん 障害程度区分はいくつですか。

図 -9-4 障害者自立支援法における障害程度区分



(6) 障害者自立支援法における障害福祉サービスの費用負担

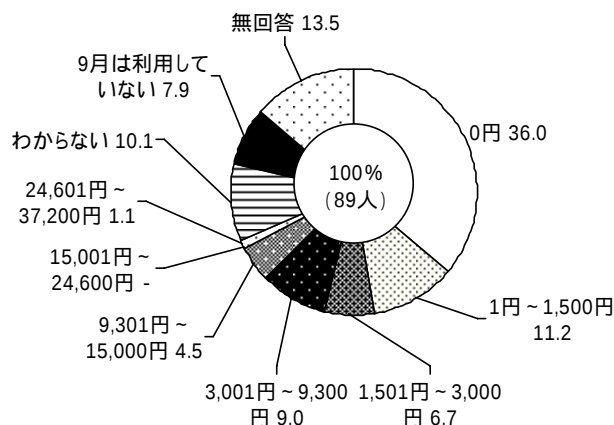
過去 1 年間に障害者自立支援法のサービスを利用した 89 人が対象

しょうがいしゃじりつしえんぽう 障害者自立支援法におけるしょうがいふくし 障害福祉サービスのひょうふたんがく 費用負担額は「0円」が 36.0%

過去 1 年間に障害者自立支援法による障害福祉サービスを利用したことがある人(89 人)に、平成 20 年 9 月の費用負担額 (食費等実費負担額は除く) を聞いたところ、「0 円」36.0%、一方、「15,001 円 ~ 24,600 円」と「24,601 円 ~ 37,200 円」を合わせた 15,001 円以上の割合は 1.1%となっている。(図 -9-5)

とい 問 あなたのじりつしえんぽう 自立支援法におけるしょうがいふくし 障害福祉サービスの費用負担についてお聞きします。1 か月にあなたが負担した額 (食費等実費負担は除く) はいくらですか。

図 -9-5 障害者自立支援法における障害福祉サービスの費用負担



(7) 日常生活自立支援事業の利用意向 - 障害の等級、診断名、回答者別

日常生活自立支援事業の利用意向は「制度を知らない」が25.7%

日常生活自立支援事業を利用するつもりがあるが聞いたところ「わからない(27.0%)」と「制度を知らない(25.7%)」の割合が高く、「今後利用したい」の割合は15.5%であった。

診断名別にみると、そううつ病、うつ病及び人格障害で「制度を知らない」の割合が3割以上となっている。(図 -9-6)

問 あなたは、日常生活自立支援事業(従来の地域福祉権利擁護事業)を利用するつもり(予定)がありますか。

図 -9-6 日常生活自立支援事業の利用意向 - 障害の等級、診断名、回答者別



(8) 成年後見制度の利用意向 - 障害の等級、診断名〔複数回答〕、回答者別

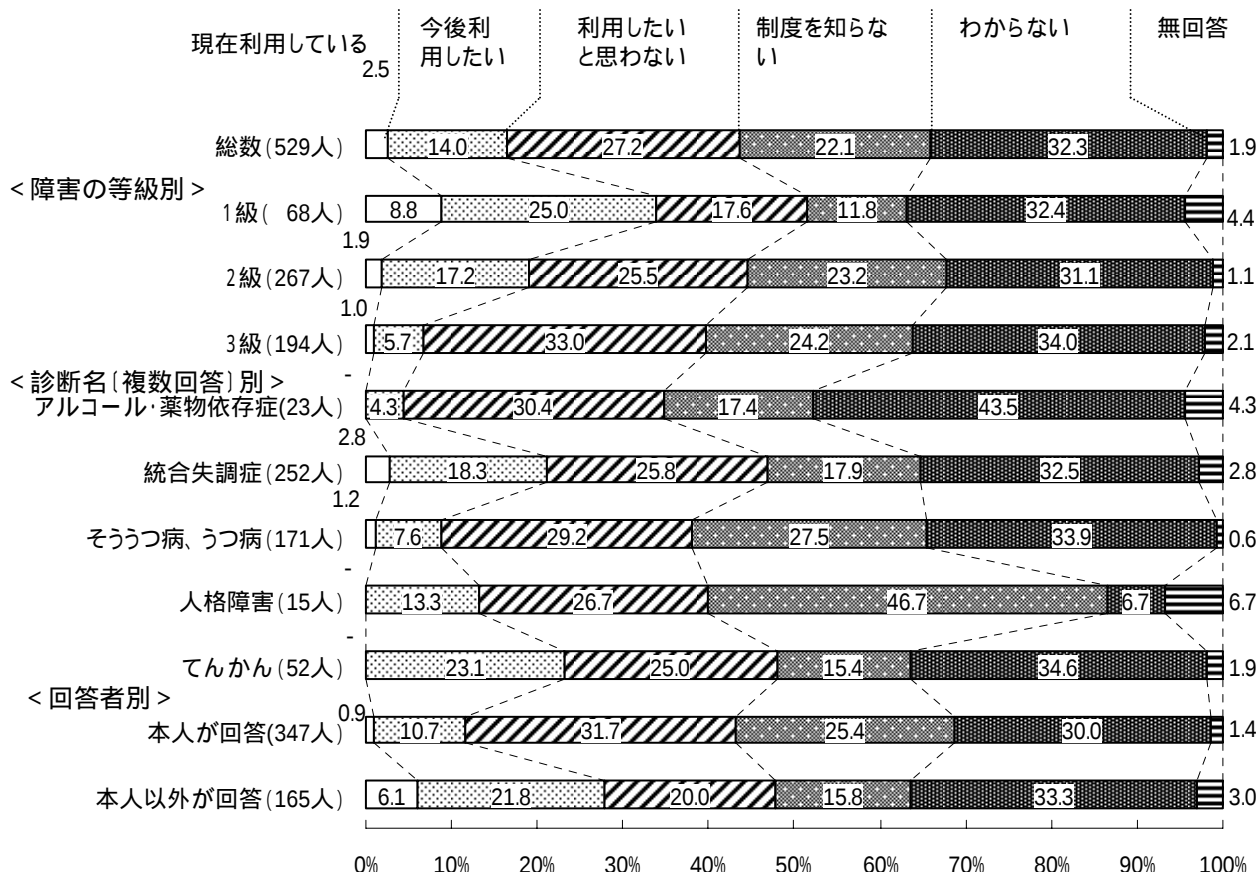
成年後見制度を利用したいと思っている割合は障害等級1級の人で25.0%

成年後見制度を利用するつもりがあるが聞いたところ「わからない(32.3%)」と「利用したいと思わない(27.2%)」の割合が高く、「今後利用したい」の割合は14.0%であった。

障害の等級別にみると「今後利用したい」の割合は、1級が25.0%と高い。(図 -9-7)

問 あなたは、成年後見制度を利用するつもり(予定)がありますか。

図 -9-7 成年後見制度の利用意向 - 障害の等級、診断名〔複数回答〕、回答者別



(9) 介護保険制度の利用の有無 - 年齢階級別

40 歳以上の 377 人が対象

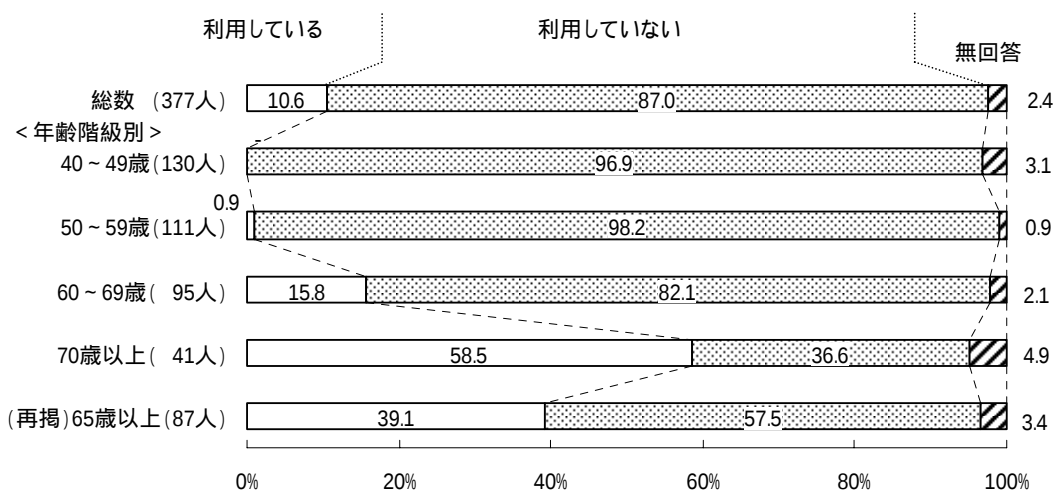
介護保険制度を「利用していない」人は 87.0%

調査基準日現在、40 歳以上の人に介護保険制度の利用状況を聞いたところ「利用している」と答えた人の割合は 10.6%、「利用していない」は 87.0%であった。

年齢階級別にみると「利用している」割合は、年齢が高くなるにつれて、上昇している。(図 -9-8)

問 あなたは、介護保険制度を利用していますか。

図 -9-8 介護保険制度の利用の有無 - 年齢階級別



(10) 介護保険制度の要介護度

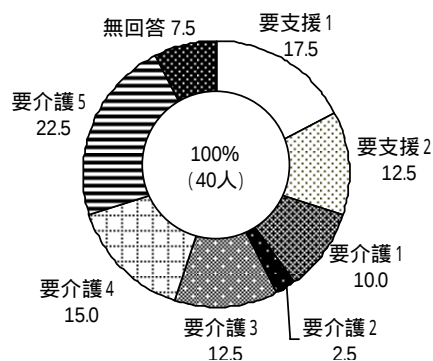
介護保険制度を利用している 40 人が対象

介護保険制度を利用している人の要介護度は「要介護度5」の割合が最も高い

介護保険制度を利用している人の要介護度を聞いたところ「要介護度 5」が 22.5%と最も高くなっている。(図 -9-9)

問 あなたの要介護度は何度ですか。

図 -9-9 介護保険制度の要介護度



(11) 介護保険法におけるサービスの費用負担

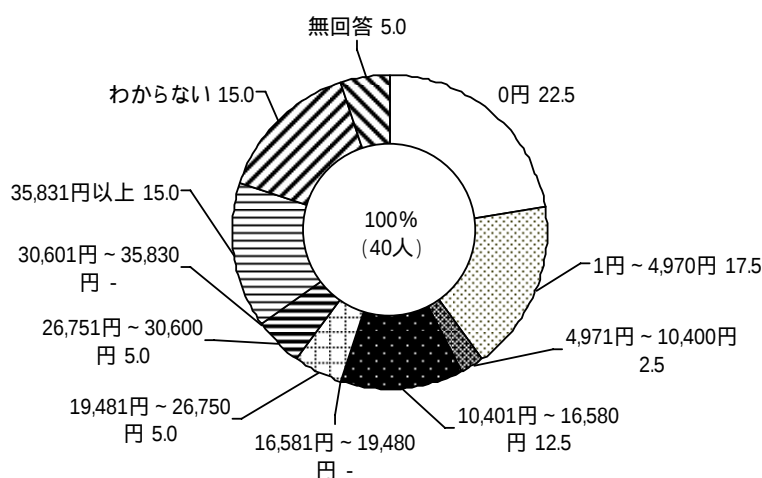
介護保険制度を利用している 40 人が対象

介護保険法におけるサービスの費用負担額は「0円」の割合が最も高い

介護保険法におけるサービスの費用負担額は「0円」の割合が22.5%と最も高い。(図 -9-10)

問 あなたの介護保険法におけるサービスの費用負担についてお聞きします。1か月にあなたが負担する額（食費等実費負担額は除く）はいくらですか。

図 -9-10 介護保険法におけるサービスの費用負担



(12) 介護保険で受けている在宅サービス

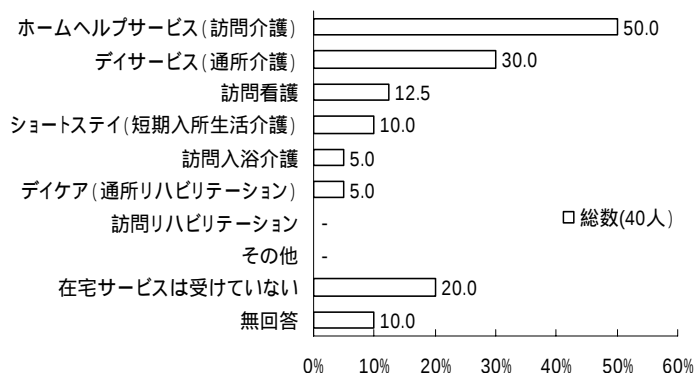
介護保険制度を利用している 40 人が対象

介護保険で受けている在宅サービスは、「ホームヘルプサービス」が50.0%

介護保険で受けている在宅サービスは、「ホームヘルプサービス（訪問介護）」の割合が50.0%と最も高い。(図 -9-11)

問 あなたはどのような内容の在宅サービスを受けていますか。

図 -9-11 介護保険で受けている在宅サービス



(13) 介護保険で受けているホームヘルプサービスの内容

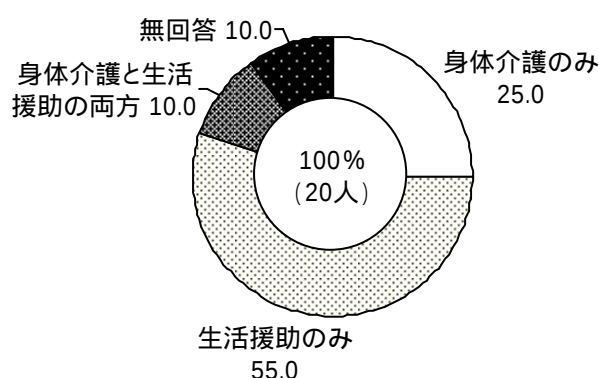
ホームヘルプサービスを受けている 20 人が対象

介護保険で受けているホームヘルプサービスの内容は「生活援助のみ」が 55.0%

介護保険のホームヘルプサービスを受けている人にサービスの内容を聞いたところ、「生活援助のみ」の割合が 55.0%と最も高くなっている。(図 -9-12)

問 あなたが受けているサービスの内容は何ですか。

図 -9-12 介護保険で受けているホームヘルプサービスの内容



(14) 介護保険で受けているホームヘルプサービスの内容で困っていること

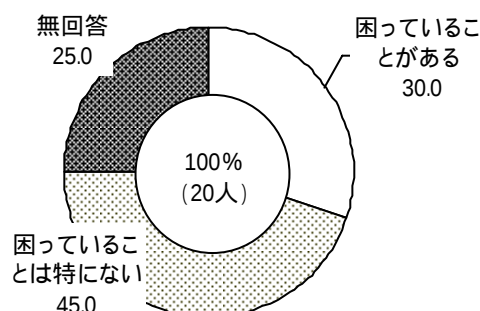
ホームヘルプサービスを受けている 20 人が対象

介護保険で受けているホームヘルプサービスの内容で「困っていることは特にない」の割合が 45.0%

介護保険で受けているホームヘルプサービスの内容で困っていることがあるか聞いたところ「困っていることがある」の割合が 30.0%、「困っていることは特にない」の割合が 45.0%であった。(図 -9-13)

問 サービスの内容で困っていることはありますか。

図 -9-13 介護保険で受けているホームヘルプサービスの内容で困っていること



10 その他の福祉サービス等

(1) 精神障害者保健福祉手帳を取得して良かったこと - 障害の等級、診断名〔複数回答〕別

精神障害者保健福祉手帳を取得して良かったことは「都営交通乗車証が取得できたこと」の割合が最も高い

精神障害者保健福祉手帳を取得して良かったと思うことは「都営交通乗車証が取得できたこと」の割合が19.8%で最も高く、前回調査（15年度調査）と比べて2.4ポイント増加した。

診断名別にみると「都営交通乗車証が取得できたこと」の割合はそううつ病、うつ病の割合が26.9%と総数（19.8%）よりも高くなっている。（表 -10-1）

問 精神障害者保健福祉手帳を取得して良かったと思うことはありますか。

表 -10-1 精神障害者保健福祉手帳を取得して良かったこと

- 障害の等級、診断名〔複数回答〕別

		総数	税金が安くなったこと	就労しやすくなったこと	都立公園、都立美術館などの利用料が無料になったこと	休養ホームが利用できなくなったこと	生活保護の加算が増えたこと	都営交通乗車証が取得できたこと	都内路線バスの運賃の割引があること	携帯電話の割引に利用したこと	その他	特にない	無回答
総数		100.0 (529)	6.6	1.1	7.2	-	7.2	19.8	16.6	5.9	4.9	21.7	8.9
障害の等級別	1級	100.0 (68)	19.1	-	8.8	-	4.4	11.8	8.8	-	5.9	35.3	5.9
	2級	100.0 (267)	6.0	1.1	7.9	-	10.5	19.9	13.9	5.6	6.7	19.5	9.0
	3級	100.0 (194)	3.1	1.5	5.7	-	3.6	22.7	23.2	8.2	2.1	20.1	9.8
診断名（複数回答）別	アルコール・薬物依存症	100.0 (23)	4.3	-	4.3	-	13.0	21.7	17.4	8.7	-	26.1	4.3
	統合失調症	100.0 (252)	4.8	-	10.3	-	9.1	16.7	16.3	6.0	4.8	22.6	9.5
	そううつ病、うつ病	100.0 (171)	5.3	1.2	5.8	-	5.8	26.9	22.2	4.7	4.1	15.8	8.2
	人格障害	100.0 (15)	6.7	-	-	-	6.7	26.7	6.7	6.7	20.0	6.7	20.0
	てんかん	100.0 (52)	7.7	7.7	1.9	-	1.9	15.4	17.3	9.6	5.8	21.2	11.5
	その他	100.0 (85)	14.1	2.4	5.9	-	3.5	10.6	15.3	8.2	4.7	29.4	5.9
15年度調査		100.0 (529)	4.0	...	5.5	0.2	8.9	17.4	...	...	5.9	23.4	3.2

（注）前回調査（15年度調査）では「就労しやすくなったこと」「都内路線バスの運賃の割引があること」「携帯電話の割引利用ができるようになったこと」の選択肢は設けていない。

(2) 医療機関以外の日常の相談先〔複数回答〕

- 現在一緒に生活している人〔複数回答〕、診断名〔複数回答〕別

医療機関以外で日常の相談先は「家族」が65.6%

医療機関以外の日常の相談先は、「家族」の割合が65.6%と最も高く、次いで「友人」の28.7%、「区市町村の担当者」の13.2%となっている。

前回調査（15年度調査）と比べると「友人」の割合が5.1ポイント増加、「区市町村の担当者」の割合が3.0ポイント増加した。

現在一緒に生活している人別にみると、「家族」に相談している割合が高いのは親（84.5%）と配偶者（89.1%）になっている。

診断名別にみると、アルコール・薬物依存症の人は「区市町村の担当者」へ相談する割合が30.4%と高いのが目立つ。（表 -10-2）

問 あなたは、医療機関以外で日常の相談をするのは誰ですか。

表 -10-2 医療機関以外の日常の相談先〔複数回答〕

- 現在一緒に生活している人〔複数回答〕、診断名〔複数回答〕別

		総 数	家 族	友 人	当 事 者 仲 間	の 職 員 な ど 施 設	活 動 支 援 セ ン タ ー な ど の 地 域	当 区 市 町 村 の 担 当 者	者 保 健 所 の 担 当	当 セ ン タ ー 精 神 保 健 福 祉	そ の 他	特 に い ない	無 回 答
総数		100.0 (529)	65.6	28.7	9.5	14.9	13.2	9.1	7.6	7.0	7.9	1.3	
現在一緒に生活している人 〔複数回答〕別	親	100.0 (187)	84.5	30.5	13.4	16.6	9.1	12.8	6.4	3.2	3.2	0.5	
	配偶者	100.0 (92)	89.1	22.8	9.8	8.7	7.6	6.5	4.3	8.7	3.3	-	
	子ども	100.0 (63)	82.5	28.6	6.3	6.3	12.7	4.8	-	7.9	6.3	1.6	
	兄弟姉妹	100.0 (66)	80.3	22.7	15.2	18.2	6.1	12.1	4.5	4.5	3.0	1.5	
	その他の親族	100.0 (14)	71.4	28.6	21.4	7.1	-	14.3	14.3	-	-	14.3	
	一人で暮らしている	100.0 (173)	38.7	35.3	8.1	14.5	19.7	8.1	10.4	9.2	13.3	1.2	
	その他	100.0 (11)	9.1	18.2	9.1	54.5	9.1	9.1	-	9.1	18.2	9.1	
診断名 〔複数回答〕別	アルコール・薬物依存症	100.0 (23)	34.8	39.1	21.7	8.7	30.4	4.3	21.7	8.7	4.3	-	
	統合失調症	100.0 (252)	69.4	25.0	9.9	17.1	11.9	10.3	9.5	7.1	6.7	0.8	
	そううつ病、うつ病	100.0 (171)	65.5	35.1	9.9	11.1	11.7	8.2	5.8	6.4	9.4	1.2	
	人格障害	100.0 (15)	46.7	20.0	6.7	6.7	6.7	-	6.7	6.7	20.0	-	
	てんかん	100.0 (52)	71.2	30.8	9.6	17.3	25.0	15.4	-	3.8	5.8	1.9	
	その他	100.0 (85)	67.1	23.5	5.9	11.8	10.6	9.4	4.7	9.4	11.8	3.5	
15年度調査		100.0 (529)	66.5	23.6	13.6	22.3	10.2	14.6	8.3	7.4	8.7	1.7	

(3) 将来暮らしたいところ

- 年齢階級、住居の種類、現在一緒に生活している人〔複数回答〕別

将来暮らしたいところは「親などから独立した一般の住宅」が9.8%

将来どこで暮らしたいか聞いたところ、「今の生活の場所から変えたい」が32.9%、「今のままでよい」が46.1%となっている。

「今の生活の場所から変えたい」人のうち、「親などから独立した一般の住宅」で暮らしたいと答えた割合を年齢階級別にみると、20代(20.6%)、30代(18.6%)の割合が総数(9.8%)の割合よりも高い。一方、「今のままでよい」と答えた割合を現在一緒に生活している人別にみると、配偶者の割合が57.6%と高くなっている。(表 -10-3)

問 あなたは、将来どこで暮らしたいと思いますか。

表 -10-3 将来暮らしたいところ

- 年齢階級、住居の種類、現在一緒に生活している人〔複数回答〕別

		総数	か 今 の 変 え た の 場 所	家 が 親 住 な ん ど の い 家 る 族	ホ ム 又 は ケ ア ホ ー ム	グ ル ー プ ホ ー ム	住 立 た な か ら の 独 立	親 な か ら の 独 立	そ の 他	今 の ま ま で よ い	わ か ら な い	無 回 答
総数		100.0 (529)	32.9	9.8	4.5	9.8	8.7	46.1	18.5	2.5		
年 齢 階 級 別	29歳以下	100.0 (34)	41.2	8.8	5.9	20.6	5.9	50.0	8.8	-		
	30～39歳	100.0 (118)	40.7	14.4	4.2	18.6	3.4	42.4	14.4	2.5		
	40～49歳	100.0 (130)	32.3	9.2	2.3	10.0	10.8	49.2	15.4	3.1		
	50～59歳	100.0 (111)	30.6	8.1	3.6	6.3	12.6	45.0	23.4	0.9		
	60～69歳	100.0 (95)	25.3	6.3	8.4	2.1	8.4	51.6	20.0	3.2		
	70歳以上	100.0 (41)	30.6	11.1	5.6	2.8	11.1	36.1	27.8	5.6		
	(再掲) 65歳以上	100.0 (87)	27.6	9.2	5.7	2.3	10.3	37.9	28.7	5.7		
住 居 の 種 類 別	持家	100.0 (193)	36.8	11.4	5.2	13.0	7.3	50.8	11.4	-		
	借家・賃貸住宅等	100.0 (289)	27.3	7.3	4.2	6.2	9.7	47.8	22.1	-		
	グループホーム、ケアホーム	100.0 (9)	55.6	22.2	-	33.3	-	11.1	33.3	-		
現 在 一 緒 に 生 活 し て い る 人 〔 複 数 回 答 〕 別	親	100.0 (187)	37.4	11.8	4.3	15.5	5.9	49.2	10.7	2.7		
	配偶者	100.0 (92)	26.1	5.4	3.3	9.8	7.6	57.6	15.2	1.1		
	子ども	100.0 (63)	27.0	7.9	1.6	11.1	6.3	46.0	25.4	1.6		
	兄弟姉妹	100.0 (66)	40.9	6.1	6.1	24.2	4.5	48.5	10.6	-		
	その他の親族	100.0 (14)	42.9	7.1	-	28.6	7.1	21.4	35.7	-		
	一人で暮らしている	100.0 (173)	26.0	8.1	5.2	-	12.7	49.7	22.5	1.7		

(4) 今後利用したい福祉サービス等〔複数回答〕

- 年齢階級、診断名〔複数回答〕、平日の日中主に過ごしたところ別

今後利用したい福祉サービス等は、「就労支援サービス」の割合が最も高く、前回調査よりも2.1ポイント上昇し20.2%

今後利用したい福祉サービス等は、「就労支援サービス」(20.2%)、「ホームヘルプサービス」(19.7%)、「相談サービス(地域活動支援センターなど)」(19.7%)の割合が高く、前回調査と比べて「就労支援サービス」の割合が2.1ポイント増加した。

年齢階級別にみると「就労支援サービス」の割合は30代で最も高く（34.7%）、平日の日中に過ごしたところ別にみると「就労支援サービス」の割合は通所施設（作業所、授産施設など）で過ごした人が40.9%と高くなっている。（表 -10-4）

問 あなたが、^{こんごりよう}今後利用したい^{ふくし}福祉サービス等^{とうなん}は何ですか。

表 -10-4 今後利用したい福祉サービス等〔複数回答〕

- 年齢階級、診断名〔複数回答〕、平日の日中主に過ごしたところ別

		総 数	ホ ー ム ヘ ル ス	所 、 授 産 施 設 な ど	通 所 サ ー ビ ス	シ ョ ー ト ス デ イ サ ー ビ ス	動 支 援 セ ン タ ー な ど	相 談 サ ー ビ ス （ 地 域 活 動 サ ー ビ ス ）	就 労 支 援 サ ー ビ ス	充 実 情 報 提 供 の 状 況	訪 問 看 護	デ イ ケ ア	マ ン （ オ ン ブ ズ ） 苦 情 処 理	自 助 グ ル ー プ 活 動	そ の 他	特 に な い	無 回 答
総数		100.0 (529)	19.7	11.7	8.9	19.7	20.2	16.1	9.8	14.2	5.3	5.5	4.3	27.0	4.3		
年 齢 階 級 別	29歳以下	100.0 (34)	12.9	19.4	6.5	35.5	22.6	19.4	3.2	3.2	-	9.7	-	25.8	3.2		
	30～39歳	100.0 (118)	7.6	12.7	8.5	26.3	34.7	28.0	4.2	12.7	9.3	8.5	2.5	24.6	2.5		
	40～49歳	100.0 (130)	15.4	16.9	6.9	20.8	26.9	16.2	5.4	16.9	6.9	8.5	3.8	26.9	3.1		
	50～59歳	100.0 (111)	21.6	9.9	5.4	19.8	16.2	12.6	11.7	16.2	4.5	2.7	5.4	31.5	4.5		
	60～69歳	100.0 (95)	35.8	7.4	14.7	13.7	4.2	10.5	22.1	10.5	2.1	2.1	3.2	25.3	7.4		
	70歳以上	100.0 (41)	31.7	2.4	12.2	-	2.4	2.4	12.2	22.0	2.4	-	12.2	29.3	4.9		
	（再掲）65歳以上	100.0 (87)	31.0	3.4	14.9	6.9	2.3	5.7	14.9	18.4	3.4	1.1	8.0	28.7	8.0		
診 断 名 （ 複 数 回 答 ） 別	アルコール・薬物依存症	100.0 (23)	8.7	-	8.7	21.7	30.4	13.0	-	13.0	8.7	26.1	8.7	21.7	4.3		
	統合失調症	100.0 (252)	19.0	19.0	8.3	19.4	21.4	13.9	12.7	19.4	1.6	4.8	3.6	25.4	3.6		
	そううつ病、うつ病	100.0 (171)	19.9	4.1	6.4	24.6	18.7	22.2	6.4	8.2	7.6	8.2	2.9	31.6	4.7		
	人格障害	100.0 (15)	33.3	13.3	-	13.3	26.7	26.7	-	13.3	33.3	13.3	6.7	13.3	-		
	てんかん	100.0 (52)	17.3	7.7	11.5	17.3	25.0	15.4	11.5	5.8	3.8	3.8	1.9	36.5	3.8		
と こ ろ 別 平 日 の 日 中 主 に 過 こ し た	自分の家	100.0 (354)	22.0	8.5	8.2	21.2	18.6	17.8	10.2	12.7	5.1	5.1	3.1	27.7	3.4		
	職場	100.0 (52)	9.6	1.9	9.6	9.6	30.8	23.1	-	7.7	5.8	9.6	1.9	44.2	1.9		
	通所施設（作業所、授産施設など）	100.0 (44)	6.8	36.4	11.4	22.7	40.9	9.1	11.4	4.5	9.1	9.1	6.8	20.5	2.3		
	デイケア等	100.0 (27)	25.9	25.9	7.4	25.9	11.1	11.1	22.2	55.6	-	7.4	-	11.1	3.7		
	入所施設（生活訓練施設、福祉ホーム等）	100.0 (17)	35.3	11.8	5.9	5.9	11.8	11.8	17.6	17.6	11.8	-	23.5	11.8	11.8		
15年度調査		100.0 (529)	25.3	17.4	8.3	23.1	18.1	20.4	14.2	15.9	5.9	4.7	4.3	23.4	2.8		